

業種別業況動向調査結果

(令和4年7-9月期)

令和4年11月
北海道経済部経済企画課

- 調査時期 令和4年10月
- 調査方法 道内経済・産業団体からの聞き取り及びアンケート形式による調査
- 調査団体 機械（北海道機械工業会）、IT（北海道IT推進協会）、
食品（北海道冷凍食品協会、北海道菓子工業組合）、
商店街（北海道商店街振興組合連合会）、卸売市場（北海道市場協会）
観光（全国旅行業協会北海道支部、日本ホテル協会北海道支部）
建設（北海道建設業協会）、運輸（北海道トラック協会）
金融（北海道信用保証協会）、経済団体（北海道商工会議所連合会、
北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会）

■ 調査項目

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7-9月期）の現状

ア. 業況感 イ. 売上高、売上単価 ウ. 原材料、燃料、仕入コスト
エ. 収益 オ. 設備投資 カ. 雇用 キ. 資金繰り

(2) 来期（令和4年10-12月期）の見通し

2 業界として抱える問題点・課題について

3 道の施策等に対する意見、要望について

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

原油・原材料価格等の上昇による貴団体業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等

2 為替相場の変動の影響について

円安による団体・業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等

3 行動制限のない新型コロナウイルス感染症第7波の影響について

新型コロナウイルス感染症第7波による団体・業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等

— 目次 —

北海道機械工業会	・・・	P 1
北海道IT推進協会	・・・	P 5
北海道冷凍食品協会	・・・	P 9
北海道菓子工業組合	・・・	P 13
北海道商店街振興組合連合会	・・・	P 17
北海道市場協会	・・・	P 21
全国旅行業協会北海道支部	・・・	P 26
日本ホテル協会北海道支部	・・・	P 30
北海道建設業協会	・・・	P 35
北海道トラック協会	・・・	P 42
北海道商工会議所連合会	・・・	P 47
北海道商工会連合会	・・・	P 49
北海道中小企業団体中央会	・・・	P 56
北海道信用保証協会	・・・	P 78

業種別業況動向調査 [令和4年7—9月期]

団体名：一般社団法人 北海道機械工業会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7—9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】 好転と悪化の割合がほぼ同じであるため</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	29.6%が増加、31.6%が減少と回答
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	90.3%が増加と回答
エ. 収益の動向	24.5%が増加、39.3%が減少と回答
オ. 設備投資の動向	12.2%が増加、8.6%が困難と回答
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<p>[人手不足の状況] 人手不足と感じている企業 68.5%</p> <p>[人手不足の解消に向けた取組] ・従業員の定年延長、女性の採用、I・Uターンの活用、外国人の採用など</p>
キ. 資金繰りの動向	3.1%が好転、9.7%が悪化と回答

(2) 来期（令和4年9－12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

- | | | |
|---|-----------------|-----------------------|
| ア | 業界団体における業況感 | ・26.9%が好転、29.4%が悪化と回答 |
| イ | 売上高、売上単価の動向 | ・29.7%が増加、32.8%が減少と回答 |
| ウ | 原材料・燃料・仕入コストの動向 | ・88.7%が上昇と回答 |
| エ | 収益の動向 | ・21.5%が増加、45.1%が減少と回答 |
| オ | 設備投資の動向 | ・14.8%が増加、9.7%が困難と回答 |
| カ | 雇用の動向 | ・昨年度調査の傾向から多少改善される見込み |
| キ | 資金繰りの動向 | ・3.6%が好転、10.3%が悪化と回答 |

2 業界として抱える問題点・課題について

当会の景況調査において経営上の問題点として原材料仕入価格上昇が79.7%で最も多く、ついで人手不足が48.2%で、売上不振が33.0%、諸経費の増30.5%、人件費増加22.3%の順となった。
--

3 道の施策等に対する意見、要望について

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 冬季間に向け電気・燃料費の補助や設備投資への補助条件の緩和・ 原材料高騰への対応・ 従業員の賃金上昇が食品や水道光熱費の上昇に追いついておらず、道からの補助や対策を希望。・ DX，ロボットなど導入に向けた啓蒙活動・ 業界としては人的資源不足が否めず、代理人等への規制緩和や実習生受け入れに関する制度（機関や人数、諸手間）の緩和が必要になってくると思われます。・ 原発再稼働・ 受注見込みはありますが、運転資金が足りないのと融資が非常に困難です。
目先の経営状況ではなく、企業を支えていただかないと我々クラスの企業はいずれ無くなります。
観光ばかりを守らず、大事な製造業も保護願います。
製造は必ず復活します。その時に企業が無くなっては、元も子もないです。 |
|---|

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の上昇による貴団体業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等について記載して下さい。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p style="text-align: center;">大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない</p>
<p>【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>ほぼ全ての企業から影響がある旨回答</p> <p>具体的な影響の上位3つは、下記のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕入れ価格上昇 ・ 燃料費増加 ・ 輸送コスト増加

(2) 影響がある場合、価格転嫁が業界として進んでいるか記載して下さい（実感としてで結構です）。

<p>【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】</p> <p style="text-align: center;"> 全てできている ・ 概ねできている ・ 半ばできている ・ ほとんどできていない ・ 全くできていない <small>(10割) (9～6割) (5～3割) (2割未満) (ゼロ)</small> </p>
<p>【できている部分について具体的な理由を記載してください。】</p> <p>発注側の企業が値上げに対して、理解してもらえるようになった。</p>
<p>【できていない部分について具体的な理由を記載してください。】</p> <p>既に見積もりや、契約をしている金額から変更する事が困難である。</p>

2 為替相場の変動の影響について

円安による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>※好影響及び悪影響の両側面について、項目 a または b のいずれかを選択願います。</p>		
	a. 影響がある場合	b. 影響がないまたはわからない場合
好影響	・ 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある	・ 影響はない ・ わからない
悪影響	・ 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある	
<p>【上記項目で a を選択した場合、具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>輸入原料・資材等が高騰し、入手が困難になっている原材料がある。</p>		

3 行動制限のない新型コロナウイルス感染症第7波の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症第7波の感染急拡大による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ **多少影響がある** ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】

具体的な影響の上位3つは、下記のとおりであった。

- ・ 出張・会議・イベントの自粛
- ・ 営業活動の支障
- ・ 部品・原料調達が困難

(2) 感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、時短営業や行動制限が回避されたことから、一定程度人流が確保されたところですが、貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容を記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ **多少影響がある** ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容を記載してください。】

出張・会議・イベントの自粛や、営業活動への支障が改善傾向にある。

(3) ウィズコロナ・アフターコロナ等に対応するため、どのような取組みをしている、または今後実施しようとしていますか。

また、取組みの実施にあたり、課題や障壁になっていることはありますか。

【取組みの内容】

事業継続計画(BCP)の策定に取り組む企業が出てきている。

(4) 今後の新型コロナウイルス感染症に係る国や道の支援策について要望をお聞かせください。

(自由記載)

新型コロナウイルス感染症が終息しないことから、雇用を継続（確保）していくためにも雇用調整助成金など国の支援が重要であり、特に中小企業の経営状況を認識した上で制度の維持・拡充を図ってほしい。

業種別業況動向調査 [令和4年7—9月期]

団体名：一般社団法人北海道IT推進協会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7—9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <hr/> <p>【主な判断理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DXの推進により、業況はやや良い。ただし、人材不足により、受注を増やせない企業も多い。
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高はやや増加。売上単価はほぼ横ばい。
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・電気料金・ガソリン・半導体の価格が上がっている。
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・やや良い。
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・特に、新規投資は見受けられない。
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの企業で、人手不足感がある。 ・新規採用・中途採用に力を入れている企業が多い。
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題なし。

(2) 来期（令和4年9—12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

<p>ア. 今期と同様。</p> <p>イ. 今期と同様。</p> <p>ウ. 外注費のコストアップ、原油の高騰により電気料金・ガソリン代等のコストアップなどが見込まれる。</p> <p>エ. やや良い。人件費等のアップが売上単価に反映できなければ悪化も予想される。</p> <p>オ～キは、今期と同様。</p>
--

2 業界として抱える問題点・課題について

- ・自治体システムの標準化・共通化への対応。
- ・人材の確保とともに、クラウド・AI・IoT等新たな技術分野やプロジェクトマネジメントスキルの習得など人材の育成。

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・道内IT企業が求める人材確保・育成支援施策の拡充・強化。
- ・DX推進に係る施策の拡充・強化

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の上昇による貴団体業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等について記載して下さい。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p style="text-align: center;">大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない</p>
<p>【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>電気料金、ガソリン価格、半導体価格の上昇</p>

(2) 影響がある場合、価格転嫁が業界として進んでいるか記載して下さい（実感としてで結構です）。

<p>【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】</p> <p style="text-align: center;"> 全てできている (10割) ・ 概ねできている (9～6割) ・ 半ばできている (5～3割) ・ ほとんどできていない (2割未満) ・ 全くできていない (ゼロ) </p>
<p>【できていない部分について具体的な理由を記載してください。】</p> <p>他社との競争が厳しい（入札・見積合わせ）</p>

(3) （ほとんど、全く）できていない場合、コストの上昇分をどのように吸収している企業が多いか記載して下さい。

<p>【具体的な吸収の内容を記載してください。】</p> <p>経費削減</p>
--

2 為替相場の変動の影響について

円安による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>※好影響及び悪影響の両側面について、項目 a または b のいずれかを選択願います。</p>		
	a. 影響がある場合	b. 影響がないまたはわからない場合
好影響	・ 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある	・ 影響はない ・ わからない
悪影響	・ 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある	
<p>【上記項目で a を選択した場合、具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 円安に伴う電気料金、ガソリン価格、半導体価格の上昇 ・ 海外とオフショア等を行っている企業に多少の影響がある。対応については、今後の為替の推移を見極め検討。 		

3 行動制限のない新型コロナウイルス感染症第7波の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症第7波の感染急拡大による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】

従業員の感染者や濃厚接触の発生

(2) 感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、時短営業や行動制限が回避されたことから、一定程度人流が確保されたところですが、貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容を記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容を記載してください。】

(なし)

(3) ウィズコロナ・アフターコロナ等に対応するため、どのような取組みをしている、または今後実施しようとしていますか。

また、取組みの実施にあたり、課題や障壁になっていることはありますか。

【取組みの内容】

テレワークや在宅勤務の促進

【課題や障壁】

社内コミュニケーションの不足

(4) 今後の新型コロナウイルス感染症に係る国や道の支援策について要望をお聞かせください。

(自由記載)

感染症対策と経済社会活動の活性化の両方に資する施策の実施

業種別業況動向調査 [令和4年7—9月期]

一社) 北海道冷凍食品協会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期(令和4年7—9月期)の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・<input checked="" type="checkbox"/>悪い・<input checked="" type="checkbox"/>やや悪い・<input checked="" type="checkbox"/>横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】 価格改定の影響、人流の変化 原料の高騰 売上がコロナ前に戻らない</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	売上高：やや上昇 売上単価：やや上昇
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	原材料：上昇 燃料：上昇 仕入れコスト：上昇 10%以上
エ. 収益の動向	減益 収益面は非常に厳しい
オ. 設備投資の動向	大きな動きなし 控えざるをえない。
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	大きな動きなし 全体的に人手不足の傾向 募集するが応募無。
キ. 資金繰りの動向	大きな動きなし 厳しい。

(2) 来期(令和4年9—12月期)の見通しについて

上記(1)の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

<p>価格改定活動により売上高は上昇するも、仕入れコスト 人件費は予想以上の上昇。 結果、減益傾向は否めない。</p> <p>雇用に関しても、状況は好転する見通しが薄い。</p> <p>原材料の高騰並びに数量不足の為、来期も売上、利益ともに非常に厳しい状況となると予想される。</p>

2 業界として抱える問題点・課題について

需要の構造変化 / 人材確保 / 人材育成 / 働き方改革 / 健康経営の推進

世代交代の為の人材確保。老朽化した設備の更新。収益構造の改善。デジタルリテラシーの不足。低生産性。など

最低賃金のアップによる人件費のアップ。
扶養控除上限金額を意識するため、労働日数の減少。

3 道の施策等に対する意見、要望について

生産性向上を目的とする設備更新案件に対する大型補助の実施。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の上昇による貴団体業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等について記載して下さい。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない</p>
<p>【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>コスト上昇 納期遅延 電気、燃料、原材料等、すべてが高騰、苦慮している。</p>

(2) 影響がある場合、価格転嫁が業界として進んでいるか記載して下さい（実感としてで結構です）。

<p>【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>全てできている ・ 概ねできている ・ 半ばできている ・ ほとんどできていない ・ 全くできていない (10割) (9～6割) (5～3割) (2割未満) (ゼロ)</p>
<p>【できている部分について具体的な理由を記載してください。】</p> <p>価格交渉に協力的な関係構築が進んだ／発注側の適正価格への理解が進んだ。 ⇒交渉の取り組みは難しいが、一部理解が進んでいる。</p>
<p>【できていない部分について具体的な理由を記載してください。】</p> <p>取引先との関係悪化を懸念／取引先が交渉に消極的な姿勢／他社との差別化が難しく、価格競争に陥りがち／取引先も利益確保に苦慮している／取引先(消費者)を失う恐れがある ／提供する商品サービスに対する評価が十分でない</p>

(3) (ほとんど、全く)できていない場合、コストの上昇分をどのように吸収している企業が多いか記載して下さい。

<p>【具体的な吸収の内容を記載してください。】</p> <p>吸収しきれず、利益が縮小。 製造の効率化をめざしているが、実績を上回ることは難しい。</p>
--

2 為替相場の変動の影響について

円安による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>※好影響及び悪影響の両側面について、項目 a または b のいずれかを選択願います。</p>		
	a. 影響がある場合	b. 影響がないまたはわからない場合
好影響	・ 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある	・ 影響はない ・ わからない
悪影響	・ 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある	
<p>【上記項目で a を選択した場合、具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>輸入原料・資材等の高騰 など コスト上昇 納期遅延</p>		

3 行動制限のない新型コロナウイルス感染症第7波の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症第7波の感染急拡大による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】

行動制限で、商談、工場訪問に支障が出ることがあった。

(2) 感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、時短営業や行動制限が回避されたことから、一定程度人流が確保されたところですが、貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容を記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容を記載してください。】

商談、工場訪問に規制がかかっている場合がある。

直接のかかわりはないが、DX（時短・人材等）のZoom 依頼の連絡が多く入るため、対応に苦慮している。

(3) ウィズコロナ・アフターコロナ等に対応するため、どのような取組みをしている、または今後実施しようとしていますか。

また、取組みの実施にあたり、課題や障壁になっていることはありますか。

【取組みの内容】

新たな商品・サービスの提供、商圏(国内外)の拡大

【課題や障壁】

マーケティング能力の不足、自社内の知識・技術力の不足

(4) 今後の新型コロナウイルス感染症に係る国や道の支援策について要望をお聞かせください。

(自由記載)

経口薬の実装と5類への再分類。

経済活動の維持のため、行動規制の緩和する対策を取っていただきたい。

業種別業況動向調査 [令和4年7—9月期]

団体名：北海道菓子工業組合

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7—9月期）の現状について

項 目	内 容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】 売上の増加分が光熱費や人件費の増加によって相殺されている。</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	人流の回復基調にあり、コロナ前の数値を上回ってきている。
ウ. 原材料・燃料・仕入れコストの動向	10%-20%以上の上昇となっている。
オ. 設備投資の動向	生産性向上へ向けた改修工事、機械や備品の配置といった設備投資を行っている。
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	有給休暇の取得や時短のための雇用数の増加。人手不足感強まる。
キ. 資金繰りの動向	変わらない

(2) 来期（令和4年9—12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

値上げ分も含めて、売上は増加傾向にあるが、それ以上に原材料と燃料費の高騰による経費負担の増加が不安視される。ベースアップや給与の引き上げまでに及ばないことも予測され、雇用の維持が懸念される。

2 業界として抱える問題点・課題について

後継者不足と高齢により廃業する者が増えている。

3 道の施策等に対する意見、要望について

食品の廃棄削減への取組や余った食品の有効活用や、マッチングへの手助けをしてほしい。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の上昇による貴団体業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等について記載して下さい。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>大いに影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/>影響がある</p>
<p>【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>上昇した費用、光熱費、運送費、荷造り運賃、委託手数料、輸入食材</p>

(2) 影響がある場合、価格転嫁が業界として進んでいるか記載して下さい（実感としてで結構です）。

<p>【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>全てできている (10割) ・ 概ねできている (9～6割) ・ <input checked="" type="checkbox"/>半ばできている (5～3割) ・ ほとんどできていない (2割未満) ・ 全くできていない (ゼロ)</p>
<p>【できている部分について具体的な理由を記載してください。】</p> <p>小規模事業者が多いので、個々人の都合に合わせての値上げ幅はさまざまあるが、背に腹は代えられない程度の値上げは許容されている。</p>
<p>【できていない部分について具体的な理由を記載してください。】</p> <p>支出の増加による経費の圧迫を多少やわらげる程度の価格転嫁しかできていない。</p>

(3) (ほとんど、全く) できていない場合、コストの上昇分をどのように吸収している企業が多いか記載して下さい。

<p>【具体的な吸収の内容を記載してください。】</p> <p>(なし)</p>
--

2 為替相場の変動の影響について

円安による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>※好影響及び悪影響の両側面について、項目 a または b のいずれかを選択願います。</p>		
	a. 影響がある場合	b. 影響がないまたはわからない場合
好影響	・ 大いに影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ・ 多少影響がある	・ 影響はない ・ わからない
悪影響	・ 大いに影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ・ 多少影響がある	
<p>〔悪影響〕</p> <p>・ 輸入原料・資材等の高騰 など</p> <p>値上げによる販売数量の落ち込みを懸念。さらに進めば成り立たなくなり、廃業や倒産といった雇用不安に繋がるおそれがある。</p>		

3 行動制限のない新型コロナウイルス感染症第7波の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症第7波の感染急拡大による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】

行動制限がないおかげで、売上が2019年並みになったと思われる。

(2) 感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、時短営業や行動制限が回避されたことから、一定程度人流が確保されたところですが、貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容を記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

行動制限は行わないでほしい。

(3) ウイズコロナ・アフターコロナ等に対応するため、どのような取組みをしている、または今後実施しようとしていますか。

また、取組みの実施にあたり、課題や障壁になっていることはありますか。

【取組みの内容】

オムニチャネル化を図る。

【課題や障壁】

モチベーション

(4) 今後の新型コロナウイルス感染症に係る国や道の支援策について要望をお聞かせください。

(自由記載)

早く5類にしていきたい。

業種別業況動向調査 [令和4年7—9月期]

団体名：北海道商店街振興組合連合会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7—9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】 非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る規制が解除され、市民生活も平常を取り戻しつつある。一部の事業者は事業再開や本格始動への移行が見受けられる。先行き不透明感等により、引き続き厳しさも見られる。
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る規制が解除され、商店街に人が戻りつつある。飲食店や小売店で業績回復の兆しが見られるものの、コロナ禍前と比較し、売上高や売上単価は依然として低い状況が継続。
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> 原材料・燃料・仕入コストは上昇。円安基調が進み原油価格の高騰が物流コストだけでなく、飲食店の食材などをはじめとする原材料などの仕入価格にも波及してきており、依然として厳しい状況が続いている。
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き厳しい状況が継続。
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済の先行きが見えないことから、商店街を構成する個店の新設・改修などをはじめとする設備投資に向かう事業者は極めて少ない傾向が継続。
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が収束して、飲食店等の本格的な事業再開等に伴って新たな雇用確保も期待できるが、先行きが見えない現時点では、既存の雇用維持も難しい状況の継続が懸念される。
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が残る中で、事業者の資金繰りは引き続き厳しさが見受けられる。 特に、これまで支援を受けてきたコロナ関連融資の借入金の返済が始まれば、返済原資などの資金繰り等、事業者の経営の先行き不安が懸念されている。

(2) 来期（令和4年9－12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大への対応については、これまでの取組を踏まえつつ、ウィズコロナ、アフターコロナ対策に移行しながら強化を図って来ているが、新たに原油価格の高騰やウクライナ情勢に加え、さらには円安の進行等、先行きの不安材料があるものの、感染症防止と社会経済活動の両立に努めながら、行動制限が解除され、これまで実施できなかった秋祭りなど地域イベントが内容を見直しつつも実施の方向で検討されていることや、歳末商戦に向けて商店街への人流が少しずつ戻って行くことが期待される。
- ・なお、10月に入っても新型コロナウイルス感染症の第7波が下がりきっておらず、年末年始に向かって再拡大の懸念など、先行きに不確実性がある。

2 業界として抱える問題点・課題について

- ・人口減少や少子高齢化の進展等の外的要因や、経営者の高齢化や後継者不足、人手不足等の内的要因に加え、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、自粛ムードの継続による個人消費の落ち込みにより、商店街を構成する多くの事業者は、かつてない厳しい経営状況に陥っており、商店街活動も縮小を余儀なくされている。

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・商店街は専門性を持つ異業種の集積として、地域の雇用や経済を支えるとともに、買い物やサービスの提供の場だけではなく、地域を支える公共的で高度なインフラとしての役割を担っており、地域づくりを支える中核的組織として位置づけ、支援をいただきたい。
- ・特に、原油・原材料価格の高騰や急激な円安は、商店街の中小企業・小規模事業者の経営に係るコスト上昇を引き起こすとともに、経済活動の停滞を招く懸念があるので、スムーズな価格転嫁への取組が実現するよう支援をお願いします。
- ・引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大により、長期にわたり事業活動が制限され、経営体力の弱い事業者に対して、
 - ① 労働力の維持や資金繰り・返済等の各種支援
 - ② 商店街が消費喚起のために行う取組に対する支援
 - ③ 感染の長期化や再流行に備えた、更なる支援策の拡大をお願いします。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の上昇による貴団体業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等について記載して下さい。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p style="text-align: center;">大いに影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/>影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない</p>
<p>【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>・コロナ禍で原材料の仕入れ価格が上昇している中で、原油価格の高騰による輸送コストや包装資材、原材料の高騰等により、さらに経営コストが上昇しているが、個店においては商品・サービスの販売価格に転嫁しづらい状況にあり、厳しい経営を強いられている。</p>

(2) 影響がある場合、価格転嫁が業界として進んでいるか記載して下さい（実感として結構です）。

<p>【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】</p> <p style="text-align: center;">全てできている (10割) ・ 概ねできている (9～6割) ・ 半ばできている (5～3割) ・ <input checked="" type="checkbox"/>ほとんどできていない (2割未満) ・ 全くできていない (ゼロ)</p>
<p>【できていない部分について具体的な理由を記載してください。】</p> <p>・コロナ禍前に比べ商店街への人流が戻っておらず、個人消費自体が低迷している中で、購買意欲の低下と客単価のさらなる減少を招く恐れのある商品価格への直接転嫁が出来にくいため。</p>

(3) (ほとんど、全く) できていない場合、コストの上昇分をどのように吸収している企業が多いか記載して下さい。

<p>【具体的な吸収の内容を記載してください。】</p> <p>・個別事業者による経費削減など経営努力。</p>
--

2 為替相場の変動の影響について

円安による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>※好影響及び悪影響の両側面について、項目 a または b のいずれかを選択願います。</p>		
	<input checked="" type="checkbox"/> a. 影響がある場合	b. 影響がないまたはわからない場合
好影響	・ 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある	・ 影響はない ・ わからない
悪影響	・ 大いに影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ・ 多少影響がある	
<p>【上記項目で a を選択した場合、具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>・原材料調達のコスト増による影響があるが、最も懸念されるのは物価の上昇等による景気の後退感が購買意欲の低下を招くこと。</p>		

3 行動制限のない新型コロナウイルス感染症第7波の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症第7波の感染急拡大による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ **多少影響がある** ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】

- ・ 感染拡大防止への対応として、イベント会場への入場制限、会場内での滞在時間の制限、椅子等の排除やアルコール飲料の販売中止等の制限を課すなど、商店街は様々な対応に取り組んでいる。
- ・ イベントのリアル開催を行わず、「SNS」を活用した抽選会やフォトコンテスト等による取組へシフトした商店街もある。また、中には「SNS」の活用に係わる内部研修を活発に行っている商店街もある。

(2) 感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、時短営業や行動制限が回避されたことから、一定程度人流が確保されたところですが、貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容を記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ **多少影響がある** ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容を記載してください。】

- ・ 感染症予防と経済活動の両立に努めながら、7月中旬からの夏祭り等のイベントは8割以上の商店街で実施（3年ぶりの再開など）、秋祭りや10月のハロウィンイベントを実施（再開）しようとする組合も多い。さらに、年末に向けた歳末売出しの準備にも進めている。
- ・ 10月以降の「まちゼミ」（対面型による少人数制の講座）再開を準備する組合があるなど、商店街を構成する個店を対象とした、積極的な取組が目立ってきた。

(3) ウィズコロナ・アフターコロナ等に対応するため、どのような取組みをしている、または今後実施しようとしていますか。

また、取組みの実施にあたり、課題や障壁になっていることはありますか。

【取組みの内容】

- ・ 新たな需要創出に向けた商店街活動に係る事例の調査研究を行い、会員に対する効果的な情報提供を行い、取組を促していく。

(4) 今後の新型コロナウイルス感染症に係る国や道の支援策について要望をお聞かせください。

（自由記載）

「I 一般調査 3 道の施策等に対する意見、要望について」に記載のとおり

業種別業況動向調査 [令和4年7—9月期]

団体名：一般社団法人北海道市場協会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7—9月期）の現状について

項目	内容
	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・<input checked="" type="checkbox"/>やや悪い・<input checked="" type="checkbox"/>横ばい・<input checked="" type="checkbox"/>やや良い・良い・非常に良い</p>
ア. 業界団体における業況感	<p>【主な判断理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続きコロナ禍による経済活動への影響に回復を感じられた。 一方で、エネルギー価格の上昇などによるマイナス要因も認められるなど、業況感は「横ばい」を中心に斑模様を呈している。 なお、単価高から取扱高がプラスに転じている市場もあるが、数量では引き続き低水準（数量減の単価高）で推移。
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> 物価上昇の流れや輸入冷凍品の高騰相場などにより、売り上げ単価は上昇、その影響で取扱高も上昇傾向にあるが、数量は減少。 一部、消費価格が上がらない中で、逆ザヤとなっている商材もある。
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> 全体的にさらなる上昇傾向にあり、海外からの仕入れは円安の影響を大きく受けている。 電気料金値上げの影響により電気代、冷蔵庫の維持経費が上昇。 生産コストや輸送コストの上昇により、仕入れ価格が上昇、また販売価格に反映させるよう要請されている。
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> 単価高の影響で売上高も増加したことから収益率が向上したとする一方、直近の相場では仕入れ価格に比べて販売価格が厳しい、経費単価のさらなる上昇が続いているなど、先行きへの懸念も同居。
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどが、現状維持としているが、一部に、老朽施設の修繕、更新の動きもある。
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<ul style="list-style-type: none"> 一部で過剰感、不足感があるものの、概ね「適正」。 定年退職者の増加や若年層の不足などから新卒採用を進める向きもある。
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> 特に問題なし

(2) 来期（令和4年9－12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

- ・引き続き先の見通しが立ちづらい状況であるが、全体的な業況感は横ばいで推移すると想定している市場が大半である一方で、水産物全体の値上げが進み、年末商材への影響などからマイナス観測する向きもある。
- ・また、スーパー等の量販店の売り上げに回復の予見が見当たらないことから、厳しいとする見方もある。
- ・円安やウクライナ情勢による日本経済への打撃が深刻な中、コロナの行動制限や訪日外国人の入国緩和により国内消費の回復が見込まれるとの期待もある。
- ・現状の高止まり相場が下落に転じることで業況感が大きく変動することから注視が必要
- ・水道光熱費に加え、最低賃金の上昇や社会保険制度の改正など経費単価の上昇により、収益率低下も懸念。
- ・近海水産物の不漁が続いているなど、今後への不安材料も内包。
- ・雇用に関しては、若年層の不足感を抱える市場を中心に引き続き、新卒採用の動き。

2 業界として抱える問題点・課題について

- ・近海漁業での漁獲量の乱高下による影響が危惧される。（漁業従事人口の減少との兼ね合い）
- ・諸外国の水産物需要の増大による買い負け、円安による輸入コスト増大。
- ・燃料（物流コスト含む）、電気代などの高騰による経費増大。
- ・働き方改革の推進。
- ・高齢化が進む半面、人材確保が難しい業界であり、新卒（若年層）の採用が難しい。
- ・女性の採用、登用の推進。
- ・業務効率化を進めるためのデジタル化の推進

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・道内では、主要魚種の漁獲低迷や自然環境下での生育被害が問題となっており、水産資源保護の観点に立った漁業者や漁業団体への手厚い支援が必要。
- ・本道の農林水産物の海外輸出、国内での売り込みなど官民を挙げての施策が望まれる。
- ・新規事業への取組とともに、再生可能エネルギーの導入を含めたエコロジーな施設・設備への転換が求められているが、多額な経費コストで頓挫してしまう。
- ・さまざまな補助制度を検討しても、グループ化や系列化された企業は「みなし大企業」となってしまう、実態は中小企業でも支援を受けられない。道として企業の実態に合わせた仕組みの見直しを図ってもらいたい。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の上昇による貴団体業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等について記載して下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】

- ・燃料（運賃含む）、電気代、人件費（最低賃金の上昇を含む）などの費用及び生産費の上昇が顕著、また、円安による海外からの輸入水産物や原材料の高騰による加工品など、仕入れ価格も上昇しており経営のあらゆる面に影響。
- ・経費節減や効率的な在庫の回転などにより対応するものの限界がある。
- ・ロシア産水産物は国内在庫により、今のところ大きな影響は聞こえないが、漁業権のことなどから長期的には影響がでてくるものと憂慮している。

(2) 影響がある場合、価格転嫁が業界として進んでいるか記載して下さい（実感としてで結構です）。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

全てできている (10割) ・ 概ねできている (9～6割) ・ 半ばできている (5～3割) ・ ほとんどできていない (2割未満) ・ 全くできていない (ゼロ)

さまざまな面で価格高騰の影響があり、また、価格転嫁の状況もそれぞれで程度が異なっていることから、業界全体としての平均値を示すことは困難。

【できている部分について具体的な理由を記載してください。】

- ・商品価格の値上がりは世界的かつ全品目といった印象から物価上昇というキーワードが広がっており、値上げが許容される空気が醸成されつつある。
- ・現状を丁寧に説明し、取引先に理解を得て、値上げ交渉による適正価格としての認識が進んだ。

【できていない部分について具体的な理由を記載してください。】

- ・他社との競合が厳しく、卸売業特有の薄利多売の価格形成のため、価格転嫁しづらい。
- ・加工品ではこれまでの価格が消費者の意識に根付いており、値上げが難しいものもある。
- ・他社との差別化も難しく、取引先自体も利益確保に苦慮している状況で価格転嫁が進まない。
- ・消費の縮小を恐れて転嫁しきれない商品も多くあり、他社との競合が激しい商品ほどその傾向が強い。

(3) (ほとんど、全く) できていない場合、コストの上昇分をどのように吸収している企業が多いか記載して下さい。

【具体的な吸収の内容を記載してください。】

- ・現状では経費節減が大半の手立てであるが、当然に限界がある。

2 為替相場の変動の影響について

円安による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】		
※好影響及び悪影響の両側面について、項目 a または b のいずれかを選択願います。		
	a. 影響がある場合	b. 影響がないまたはわからない場合
好影響	・ 大いに影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 多少影響がある	・ 影響はない ・ <input checked="" type="checkbox"/> わからない
悪影響	・ <input checked="" type="checkbox"/> 大いに影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ・ 多少影響がある	
<p>悪影響の方が顕著に表れているが、それぞれの事業者で影響に差があるため、業界としての平均的な影響度合いを示すことは困難。</p> <p>【上記項目で a を選択した場合、具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>－好影響の部分について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 円安による海外需要者の買付意欲増大。 ・ インバウンドの日本国内での消費増加。 ・ 輸出向け商品の売り上げ増加。 <p>－悪影響の部分について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原料、資材の高騰 ・ 輸入品の価格に直結、コストが増加。 ・ 利益率の圧迫や逆ザヤ（損失）を出しての販売。 ・ 輸入商品の価格上昇に伴い、国産商品の価格も高まっており、消費量に影響していると感じる。 		

3 行動制限のない新型コロナウイルス感染症第7波の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症第7波の感染急拡大による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】		
<input checked="" type="checkbox"/> 大いに影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 多少影響がある ・ 影響はない ・ <input checked="" type="checkbox"/> わからない		
<p>程度の差はあるものの、何らかの影響を受けている。それぞれの事業者で影響に差があるため、業界としての平均的な影響度合いを示すことは困難。</p> <p>【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員の感染や濃厚接触の発生に伴う出社制限による営業力の低下 ・ 取引先との商談不可などによる損失の発生 ・ 消費者の外出控えなどによる飲食店の来客減、それに伴う売上の減少 ・ 市場関係事業所での感染や従業員の感染、濃厚接触の発生により出社制限、人員不足に陥る。 社内対策ルールを独自に策定し、従業員への遵守を徹底するとともに、毎月、対策ルールを見直し、臨機応変に対応 ・ 不要不急の出張規制や取引先との飲食自粛 ・ 最近では、飲食、宿泊といった方面への販売は改善傾向 		

(2) 感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、時短営業や行動制限が回避されたことから、一定程度人流が確保されたところですが、貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容を記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ **影響がある** ・ **多少影響がある** ・ **影響はない** ・ **わからない**

もともと感染による影響自体がそれぞれの事業者で差があることに加え、地域的な要因も絡み、行動制限等の回避についての業界としての平均的な影響度合いを示すことは困難。

【具体的な影響の内容を記載してください。】

- ・ 時短営業や行動制限があった期間に比べれば、飲食店などとの取引が復活、回復傾向。
- ・ 観光地は人が集まり活況のようであるが、地元の間人は逆に散歩することをしなくなった。特に水産市場にとっては悪影響と言える。
- ・ 観光業及び飲食業の活性化に伴う水産物の消費増加による需要増。
- ・ 観光客の増加等により道内需要が高まっている。
- ・ 対面商談や打ち合わせ会議が増加した。
- ・ 出張による現地での商談や来訪による従来の対面型サービスが回復。
- ・ 商品の現地検品等が実現された。

(3) ウィズコロナ・アフターコロナ等に対応するため、どのような取組みをしている、または今後実施しようとしていますか。

また、取組みの実施にあたり、課題や障壁になっていることはありますか。

【取組みの内容】

- ・ 国の施策に準じ、社内独自ルールを策定し、当社としてのマニュアルを確立
- ・ テレワークや在宅勤務の促進、取引先とのオンライン会議の実施
- ・ 新規事業の検討、チャレンジ
- ・ 会合の制限などはせず、活動を活発に行うよう指導している。ただし、基本的な感染対策は継続。

【課題や障壁】

- ・ 今後、突然のコロナウイルス変異による状況一変が不安。
- ・ 営業担当者不在時の対応。
- ・ マーケティング力の不足、技術不足、人材不足。
- ・ 補助制度の改革（欲しくても活用できない）。

(4) 今後の新型コロナウイルス感染症に係る国や道の支援策について要望をお聞かせください。

(自由記載)

- ・ 医療提供体制の強化。
- ・ 各種助成金、支援金の充実。
- ・ 観光需要喚起策の実施。
- ・ 水道光熱費高騰への補助が急務（会社の利益率の改善スピードが追い付かない）。
- ・ 広く消費者に行きわたるような消費喚起策をお願いしたい。
- ・ 経済活動が回復する時期にこそ資金が必要であり、以前のコロナ融資や新たなコロナ融資、支援策を検討してもらいたい。
- ・ さまざまな補助制度があるが、グループ化や系列化された企業、子会社は「みなし大企業」となってしまう、実態は中小企業でも支援を受けられない。こうした制約の撤廃をお願いしたい。

業種別業況動向調査 [令和4年7-9月期]

団体名：（一社）全国旅行業協会北海道支部

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	【該当するものを○で囲んでください。】 非常に悪い・悪い・ <input checked="" type="checkbox"/> やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い
	【主な判断理由】
イ. 売上高、売上単価の動向	コロナ感染前までは徐々に回復傾向にあったが、8月の感染拡大により再び動きが止まってしまった。
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	
エ. 収益の動向	どうみん割の延長などで、宿泊施設への動きはあり収益があった。
オ. 設備投資の動向	
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	ホテル業をやっている会員は、お客様の需要が全国旅行支援などで回復傾向にあるが、人員を募集しても確保が厳しく集まらなかったり直ぐに離職してしまい、客室などを80%などにしているホテルもある。
キ. 資金繰りの動向	コロナ過で借りていたお金を返済する期間に入った会員もあり引き続き厳しい資金状況が続く

(2) 来期（令和4年10-12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

全国旅行支援がスタートしたが、システムの複雑さもあり、旅行会社は手間に振り回されて利益は殆ど無く恩恵を受ける事は難しい。

2 業界として抱える問題点・課題について

- 外国人緩和でインバウンド事業が活発になってきたが、それを支える人材確保が課題。
特にホテル、バス会社

3 道の施策等に対する意見、要望について

- 5年に1度の旅行業の更新の際、直近の決算書で基準資産を満たしていないと、旅行業の更新が出来ないが、ここ2年はコロナ禍で特例としてコロナ前の決算書で基準資産を満たしていれば認められていた措置を、さらに1年継続してもらいたい。延長継続が無ければ、来年更新を迎える会員のうち、基準を満たせずに廃業に至る旅行会社が出てくる可能性があるため、引き続き継続を強く要望する。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の上昇による貴団体業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等について記載して下さい。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p style="text-align: center;">大いに影響がある ・ 影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない</p>
<p>【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>燃油高騰により、貸し切りバスの仕入れが高くなる影響がある。</p>

(2) 影響がある場合、価格転嫁が業界として進んでいるか記載して下さい（実感としてで結構です）。

<p>【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】</p> <p style="text-align: center;">全てできている ・ 概ねできている ・ 半ばできている ・ <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどできていない ・ 全くできていない <small>(10割) (9～6割) (5～3割) (2割未満) (ゼロ)</small></p>
<p>【できていない部分について具体的な理由を記載してください。】</p> <p>取引先も利益確保に苦慮している、商品サービスに対する評価が十分でない</p>

2 為替相場の変動の影響について

円安による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>※好影響及び悪影響の両側面について、項目 a または b のいずれかを選択願います。</p>		
	a. 影響がある場合	b. 影響がないまたはわからない場合
好影響	・ 大いに影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ・ 多少影響がある	・ 影響はない ・ わからない
悪影響	・ 大いに影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ・ 多少影響がある	
<p>【上記項目で a を選択した場合、具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>－好影響の部分について 輸出商品の売上増加 など インバウンド事業は外国人の入国緩和や円安の影響で、大いに期待が出来るが、海外に行く観光客は逆に厳しい状況が続く。</p> <p>－悪影響の部分について 輸入原料・資材等の高騰 など</p>		

3 行動制限のない新型コロナウイルス感染症第7波の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症第7波の感染急拡大による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】

－業績等への影響
飲食・宿泊業でのキャンセルの増加

(2) 感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、時短営業や行動制限が回避されたことから、一定程度人流が確保されたところですが、貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容を記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容を記載してください。】

人流の回復による対面型サービスの需要増

(3) ウィズコロナ・アフターコロナ等に対応するため、どのような取組みをしている、または今後実施しようとしていますか。

また、取組みの実施にあたり、課題や障壁になっていることはありますか。

【取組みの内容】

業種・業態の転換、新たな商品・サービスの提供

(4) 今後の新型コロナウイルス感染症に係る国や道の支援策について要望をお聞かせください。

(自由記載)

●5年に1度の旅行業の更新の際、直近の決算書で基準資産を満たしていないと、旅行業の更新が出来ないが、ここ2年はコロナ禍で特例としてコロナ前の決算書で基準資産を満たしていれば認められていた措置を、さらに1年継続してもらいたい。延長継続が無ければ、来年更新を迎える会員のうち、基準を満たせずに廃業に至る旅行会社が出てくる可能性があるため、引き続き継続を強く要望する。

業種別業況動向調査 [令和4年7—9月期]

団体名：（一社）日本ホテル協会北海道支部

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7—9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】 コロナの影響が顕著であった昨年、一昨年を上回るものの、宿泊における海外客、飲食付き宴会の低迷が顕著であること</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<p>宿泊については稼働率が回復基調にあるが6割程度。単価は減。インバウンドが徐々に増えてきている。 レストランは収入・単価ともに増。 宴会は減収傾向で変わらず。</p>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<p>すべてにおいて値上げが顕著。 特に電気料金の負担増が大きい。</p>
エ. 収益の動向	<p>底辺であった一昨年（2020年）を上回るも、コロナ前の2019年に対しては約4割程度の減。</p>
オ. 設備投資の動向	<p>資金繰り、資金調達に対する不安要素が大きく、大きな設備投資には消極的。 ※一部ではアフターコロナを見据え投資する動きも</p>
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<p>前期同様 正規、非正規ともに不足傾向 コロナ期間の人員縮小（休業、出向）からの反転した際に人手不足が予想される。一方で新規採用は手控えているところが多い。半面ホテル業の求人に入人が集まらない（不人気・不安）</p>
キ. 資金繰りの動向	<p>金融機関の対応は不変。 設備投資より運転資金の調達が主と思われる。</p>

(2) 来期（令和4年10—12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

<p>宿泊は10月に入り全国旅行支援もあり、前四半期、前々四半期を上回る見込みであるが北海道の感染状況悪化もあり足踏み状態。 レストランはホテル利用の安心感からか前四半期に続き順調で、10—12月期も好調。ただし、ソーシャルディスタンスを保つ配席の為、収益を伴わない。 宴会部門は会議等の開催は多くなってきているが、飲食を伴う大人数の宴席は敬遠されているようで10—12月期についても厳しい状況。12月の忘年会関係が昨年より予約状況が良かったものの、北海道の感染状況悪化により、キャンセルも出始めている。</p>
--

2 業界として抱える問題点・課題について

人材確保と省力化

コロナによりスタンダードであったサービスが変わりつつあり、いかに対応しニューノーマルの中、収益を上げていくかが課題。

3 道の施策等に対する意見、要望について

宿泊施設向けに「新しい旅のスタイル」「どうみん割」を実施いただき非常にありがたく感謝いたします。また海外からの渡航も少ないながら再開し期待しております。

また、国の「全国旅行支援」が10月より始まり一定の動きがでています。しかしながら制度的には宿泊施設のオペレーションに係る負担は大きく、また、きちんと説明もなされないままスタートしたため混乱しております。「支援はありがたいが制度と施行が不透明」というのが宿泊施設、旅行代理店全体の集約意見かと思えます。大きな実務負担のない支援に期待します。

上記1(2)のとおり飲食を伴う宴会等の動きが鈍く、行政、関連団体等が率先して飲食付き宴会を開催いただくことで（感染対策の徹底を前提として）民間企業のベンチマークとなっていきたい。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の上昇による貴団体業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等について記載して下さい。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>大いに影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない</p>
<p>【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 食材・備品関係の値上げ・ 水道光熱費（特に電気・ガス）の高騰

(2) 影響がある場合、価格転嫁が業界として進んでいるか記載して下さい（実感としてで結構です）。

<p>【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>全てできている ・ <input checked="" type="checkbox"/> 概ねできている ・ 半ばできている ・ ほとんどできていない ・ 全くできていない</p> <p>(10割) (9～6割) (5～3割) (2割未満) (ゼロ)</p>
<p>【できている部分について具体的な理由を記載してください。】</p> <p>一部レストランなどは価格改定が進んでいるが、宴会はプラン料金がおおむね決まっており、料理のレベルを下げる訳にもいかず苦勞している。また、宿泊に関してはコロナ前よりオペレーションが複雑化しており、清掃を含めたコストが増加しているが、もともと料金は繁閑に応じ設定し変動するため高単価で販売もできていない。</p>
<p>【できていない部分について具体的な理由を記載してください。】</p> <p>上記のとおり</p>

2 為替相場の変動の影響について

円安による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

※好影響及び悪影響の両側面について、項目 a または b のいずれかを選択願います。

	a. 影響がある場合	b. 影響がないまたはわからない場合
好影響	・大いに影響がある ・影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 多少影響がある	・ 影響はない ・ わからない
悪影響	・大いに影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ・ 多少影響がある	

【上記項目で a を選択した場合、具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】

－好影響の部分について

本来円安局面においては海外観光客の増加に動くのであるが、入国制限がなくなった今も大きな追い風になっていない。

－悪影響の部分について

輸入食材の高騰や付随するコスト増が顕著である

3 行動制限のない新型コロナウイルス感染症第7波の影響について

- (1) 新型コロナウイルス感染症第7波の感染急拡大による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】

北海道における感染者が増加しており、病院関係などの忘年会を自粛する動きが顕著

- (2) 感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、時短営業や行動制限が回避されたことから、一定程度人流が確保されたところですが、貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容を記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容を記載してください。】

宿泊の個人客は一定程度回復がみられるが、団体旅行の回復までには至っていない。
また、上記3(1)のとおり飲食を伴う忘年会などの大型宴会は敬遠する傾向が顕著であり、「一定程度人流が確保」との実感がない。

- (3) ウィズコロナ・アフターコロナ等に対応するため、どのような取組みをしている、または今後実施しようとしていますか。

また、取組みの実施にあたり、課題や障壁になっていることはありますか。

【取組みの内容】

ホテル業界としては国や道のガイドラインに則って業務をサービスの提供を行うだけです。

【課題や障壁】

ホテル業界の人員不足

- (4) 今後の新型コロナウイルス感染症に係る国や道の支援策について要望をお聞かせください。
(自由記載)

上記I-3 のとおり

【全国旅行支援】 = 北海道では「HOKKAIDO LOVE!割」について宿泊業界に関する支援は非常にありがたいが、制度と施行に関しては準備が不十分で現場の混乱と業務負担増を招いている。またトラブルも多い。

業種別業況動向調査 [令和4年7—9月期]

団体名：一般社団法人 北海道建設業協会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7—9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元建設業界の景気は、「悪い」傾向がやや強まっている。 ・地区別の札幌圏と道東は「悪い」傾向が強まっている。 ・完工高別の30億円以上は、「悪い」傾向が強まっている。
イ. 売上高、売上単価の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・受注総額は、「減少」傾向がやや強まっている。 ・官公庁工事、民間工事ともに「減少」傾向が続いている。
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・資材の調達は、「困難」傾向がやや弱まっている。 ・資材価格は、「上昇」傾向がやや弱まっている。
エ. 収益の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・収益は、「減少」傾向が強まっている。 ・収益の「減少」理由をみると、「完成工事高の減少」（80.6%）が最も多く、次に「資材価格の上昇」（59.2%）、「下請代金の上昇」（40.8%）の順となっている。
オ. 設備投資の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・不明
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	<p>[人手の過不足の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設労働者の確保は、「困難」傾向がやや弱まっている。 <p>[雇用調整等の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不明 <p>[当面の採用予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不明
キ. 資金繰りの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・資金繰りは、「容易」傾向が続いている。 ・支払手形の平均サイトは、「90日以内」（69.8%）、「91～120日」（27.8%）の順となっている。 ・受取手形の平均サイトは、「91～120日」（52.8%）、「90日以内」（42.3%）の順となっている。

(2) 来期（令和4年9－12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

- 業界団体における業況感
 - ・悪い傾向が続く見通し。

- 売上高、売上単価の動向
 - ・受注総額は「減少」傾向が続く見通し。
 - ・官公庁工事は「減少がやや強まる見通し。
 - ・民間工事は「減少」傾向が続く見通し。

- 原材料・燃料・仕入コストの動向
 - ・資材の調達は、「困難」傾向が続く見通し。
 - ・資材価格は、「上昇」傾向が続く見通し。

- 収益の動向
 - ・「減少」傾向が続く見通し。

- 雇用の動向（人手の過不足の状況）
 - ・困難傾向が続く見通し。

- 資金繰りの動向
 - ・「容易」傾向が続く見通し。

2 業界として抱える問題点・課題について

経営上の問題点は、①人手不足、②従業員の高齢化。③受注の減少、が上位三項目となっており、「人手不足」は25期連続で経営上の問題点1位。同じく「従業員の高齢化」は23期連続で2位となっている。

3 道の施策等に対する意見、要望について

「労務費、原材料費、エネルギーコスト等の取引価格を反映した適正な請負代金の設定や適正な工期の確保について」（令和4年4月26日付）が国土交通省より地方自治体や主要民間発注者に対して発出されておりますが、これらの要請を踏まえ、北海道として、市町村や民間発注者への指導をお願いします。

特に民間発注者については、直近の資材価格の調達や状況を反映した価格や工期での契約締結となるよう指導をお願いします。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の上昇による貴団体業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等について記載して下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ <u>わからない</u>
【具体的な影響の内容を記載してください。】 ・ 不明

(2) 影響がある場合、価格転嫁が業界として進んでいるか記載して下さい（実感としてで結構です）。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】 全てできている ・ 概ねできている ・ 半ばできている ・ ほとんどできていない ・ 全くできていない (10割) (9～6割) (5～3割) (2割未満) (ゼロ)
【できている又はできていない具体的な理由を記載してください。】 ・ 不明
【できていない部分について具体的な理由を記載してください。】 ・ 不明

(3) (ほとんど、全く) できていない場合、コストの上昇分をどのように吸収している企業が多いか記載して下さい。

【具体的な吸収の内容を記載してください。】 ・ 不明

2 為替相場の変動の影響について

円安による貴団体(業界)への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】		
※好影響及び悪影響の両側面について、項目 a または b のいずれかを選択願います。		
	a. 影響がある場合	b. 影響がないまたはわからない場合
好影響	・大いに影響がある ・影響がある ・多少影響がある	・影響はない ・ わからない
悪影響	・大いに影響がある ・影響がある ・多少影響がある	
【上記項目で a を選択した場合、具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】		
・ 不明		

3 行動制限のない新型コロナウイルス感染症第7波の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症第7波の感染急拡大による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】

(なし)

(2) 感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、時短営業や行動制限が回避されたことから、一定程度人流が確保されたところですが、貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容を記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容を記載してください。】

(なし)

(3) ウィズコロナ・アフターコロナ等に対応するため、どのような取組みをしている、または今後実施しようとしていますか。

また、取組みの実施にあたり、課題や障壁になっていることはありますか。

【取組みの内容】

・ 国や北海道からの新型コロナウイルスに関する通達の周知

(4) 今後の新型コロナウイルス感染症に係る国や道の支援策について要望をお聞かせください。
(自由記載)

特になし

業種別業況動向調査 [令和4年7-9月期]

団体名：公益社団法人北海道トラック協会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <p>【主な判断理由】 宅配貨物については横ばいからやや増加傾向であるが、それ以外の一般貨物については横ばいからやや減少傾向である。</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	上記の理由により全体的には低調な推移が続いている。
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	燃料（軽油）及び油脂やタイヤなどの全ての消耗品価格が値上がりの状況が続いており、加えて車両本体価格の値上げや車両納期の遅れがでている。
エ. 収益の動向	輸送量の低調な推移が続いており、加えて燃料をはじめとした輸送コスト全体の上昇により収益が悪化している状況が続いている。
オ. 設備投資の動向	収益が悪化している状況であり、車両代替え等の設備投資は進んでいない。
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	ドライバー及び荷役作業員等の新規雇用が進んでおらず、加えてドライバーの高齢化等により、ドライバー不足の状況が続いている。
キ. 資金繰りの動向	資金繰りについて、大きな変化は見られない。

(2) 来期（令和4年10-12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

<ul style="list-style-type: none"> ・一次産品（農水産物）の輸送繁忙期となり、一時的に輸送量は増加する見通し ・一次産品以外の一般消費者向け貨物は年末需要に向け増加の見通しだが、その他の一般貨物分野については依然として低調な見通しであり、全体としては低調な推移が続く見通し。 ・また、燃料価格が高止まりしており、燃料価格が下がらない間は運送収益の減少傾向が続く見通し。
--

2 業界として抱える問題点・課題について

原油価格の高騰によりトラックの燃料である軽油価格が高騰しているが、上昇分を運賃・料金に転嫁することが荷主との力関係等により進んでおらず、自助努力にも限界があり経営を圧迫している状況にある。

また、北海道内の物流は「広域・長距離輸送」及び「札幌圏集中による片荷輸送」や「一次産品等の季節波動」が顕著であり、北海道外への輸送はフェリーを利用しなくてはならず、本州・四国・九州など道路が繋がっている地域と比べて輸送コストや輸送時間にハンデがある。

加えて運転者不足や高齢化、働き方改革への対応等により「運びたくても運べない」という状況であり、人材確保や労働規制への対応等の経営課題が山積している状況が依然として続いている。

3 道の施策等に対する意見、要望について

- ・燃料価格高騰に対するトラック運送事業者への追加支援策を望む。
- ・景気浮揚対策を望む。
- ・北海道内の高規格幹線道路及び一般道のインフラ整備促進を望む。
- ・北海道ブランドの維持・拡大の為、道外へ輸送するための物流コストに対する支援を望む。
- ・公共事業の輸送費関連の積算単価はやや上昇しているが、事業受託企業から実運送事業者へ支払われる輸送費が原価割れを起こす事例もあり、適正な運賃が支払われるよう指導される事を望む。
- ・公共事業の工期が集中しており、ドライバー不足等により車両の確保が出来ない事例があるので、公共事業の工期の平準化等の対策を望む。
- ・災害時等における、道路の安全確保対策と燃料の安定供給・確保対策を望む

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の上昇による貴団体業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等について記載して下さい。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】

貨物自動車運送にとって燃料（軽油）は必要不可欠であり、原油価格の高騰は経営に直接影響する費目である。

現在の原油価格の高騰によりトラックの燃料である軽油価格が高騰しているが、上昇分を運賃・料金に転嫁することが荷主との力関係等によりあまり進んでおらず、自助努力にも限界があり経営を圧迫している状況にある。

(2) 影響がある場合、価格転嫁が業界として進んでいるか記載して下さい（実感としてで結構です）。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

全てできている ・ 概ねできている ・ 半ばできている ・ ほとんどできていない ・ 全くできていない
(10割) (9～6割) (5～3割) (2割未満) (ゼロ)

【できている部分について具体的な理由を記載してください。】

価格交渉に理解を示す荷主企業が出てきている。

【できていない部分について具体的な理由を記載してください。】

荷主企業との力関係や他社との競合により交渉が進まない。

荷主企業自体も原料コスト高などの影響を受けている為、交渉が進まない。

(3) (ほとんど、全く) できていない場合、コストの上昇分をどのように吸収している企業が多いか記載して下さい。

【具体的な吸収の内容を記載してください。】

経費節減（輸送効率化等）には取り組んでいるが、自助努力だけでは吸収できず、利益を減らして対応している。

2 為替相場の変動の影響について

円安による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】		
※好影響及び悪影響の両側面について、項目 a または b のいずれかを選択願います。		
	a. 影響がある場合	b. 影響がないまたはわからない場合
好影響	・ 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある	・ 影響はない ・ わからない
悪影響	・ 大いに影響がある ・ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ・ 多少影響がある	
【上記項目で a を選択した場合、具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】		
ー 悪影響の部分について <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料価格の高騰に繋がり、輸送コストが上昇する ・ その他、タイヤなどの消耗品や自動車部品等のコストも上昇する 		

3 行動制限のない新型コロナウイルス感染症第7波の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症第7波の感染急拡大による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ **多少影響がある** ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】

ドライバーが感染し、自社での輸送が困難となった場合は、協力会社へ委託する事となり、収益が減少する。

また、依頼された輸送が出来なくなった場合は荷主企業より賠償等の責任が問われる場合もある。

(2) 感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、時短営業や行動制限が回避されたことから、一定程度人流が確保されたところですが、貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容を記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ **影響がある** ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容を記載してください。】

一般消費が増加する事により、貨物需要も増加する

(3) ウィズコロナ・アフターコロナ等に対応するため、どのような取組みをしている、または今後実施しようとしていますか。

また、取組みの実施にあたり、課題や障壁になっていることはありますか。

【取組みの内容】

・ ロボット点呼や遠隔点呼、顧客対応等のオンライン化など非接触への取組

【課題や障壁】

・ 中小企業では人材や資金、時間を確保できない。

(4) 今後の新型コロナウイルス感染症に係る国や道の支援策について要望をお聞かせください。

(自由記載)

・ 感染拡大防止への取組に対する幅広い支援
・ コロナ過による売り上げ減少事業者への支援の拡大・継続

業種別業況動向調査 [令和4年7—9月期]

団体名：北海道商工会議所連合会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7—9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	現状（7—9月期） ⇒ 見通し（10—12月期） ※前年同期比 好転—悪化
	【主な判断理由】 全業種 $\Delta 20.2 \Rightarrow \Delta 18.8$ 製造 $\Delta 25.4 \Rightarrow \Delta 35.2$ 建設 $\Delta 14.7 \Rightarrow \Delta 12.3$ 卸売 $\Delta 20.0 \Rightarrow \Delta 14.6$ 小売 $\Delta 23.5 \Rightarrow \Delta 9.3$ サービス $\Delta 17.4 \Rightarrow \Delta 22.8$
イ. 売上高、売上単価の動向	現状（7—9月期） ⇒ 見通し（10—12月期） ※前年同期比 増加—減少 全業種 $\Delta 7.7 \Rightarrow \Delta 10.5$ 製造 $\pm 0.0 \Rightarrow \Delta 12.1$ 建設 $\Delta 12.0 \Rightarrow \Delta 20.0$ 卸売 $1.7 \Rightarrow 4.9$ 小売 $\Delta 17.4 \Rightarrow \Delta 11.8$ サービス $\Delta 10.6 \Rightarrow \Delta 13.8$
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	
エ. 収益の動向	今期の水準（7—9月期） ※黒字—赤字 全業種 $\Delta 8.5$ 製造 $\Delta 20.3$ 建設 25.3 卸売 $\Delta 14.7$ 小売 $\Delta 22.0$ サービス $\Delta 10.7$
	来期の水準（10—12月期） ※黒字—赤字 全業種 $\Delta 24.9$ 製造 $\Delta 41.4$ 建設 $\Delta 23.0$ 卸売 $\Delta 18.0$ 小売 $\Delta 19.5$ サービス $\Delta 22.8$

<p>オ. 設備投資の動向</p>	<p>実施した（7－9月期） ⇒ 実施予定（10－12月期） ※単位：％</p> <p>全業種 17.8 ⇒ 22.0 製造 22.4 ⇒ 30.5 建設 22.2 ⇒ 28.2 卸売 13.0 ⇒ 15.1 小売 14.7 ⇒ 20.9 サービス 16.8 ⇒ 15.1</p>
<p>カ. 雇用の動向</p> <p>※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入</p>	<p>今期の水準（7－9月期） ※過剰－不足</p> <p>全業種 △24.3 製造 △24.1 建設 △41.4 卸売 △18.9 小売 △12.3 サービス △24.7</p>
<p>キ. 資金繰りの動向</p>	<p>現状（7－9月期） ⇒ 見通し（10－12月期） ※前年同期比、好転－悪化</p> <p>全業種 △13.7 ⇒ △15.2 製造 △16.0 ⇒ △18.1 建設 2.7 ⇒ △4.0 卸売 △14.7 ⇒ △11.7 小売 △19.1 ⇒ △22.8 サービス △21.3 ⇒ △19.4</p>

2 業界として抱える問題点・課題について

<p>問題点として各業種1～3位に上げた項目</p> <p>製造 ①原材料価格の上昇、②製品ニーズの変化への対応、③需要の停滞 建設 ①材料単価の上昇、②従業員の確保難、③材料の入手難 卸売 ①仕入単価の上昇、②需要の停滞、③人件費以外の経費の増加 小売 ①仕入単価の上昇、②需要の停滞、③消費者ニーズの変化への対応 サービス ①材料等仕入価格の上昇、②需要の停滞、③利用者ニーズの変化への対応</p>

業種別業況動向調査 [令和4年7—9月期]

団体名：北海道商工会連合会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7—9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p> <hr/> <p>【主な判断理由】</p> <p>【製造業】前年同期比 DI 値 = <u>▲29.8 P</u></p> <p>【建設業】前年同期比 DI 値 = <u>▲16.6 P</u></p> <p>【小売業】前年同期比 DI 値 = <u>▲35.7 P</u></p> <p>【サービス業】前年同期比 DI 値 = <u>▲14.7 P</u></p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<p>■売上高</p> <p>【製造業】売上(加工)額 前年同期比 DI 値 = <u>0.0 P</u></p> <p>【建設業】完成工事(請負工事)額 前年同期比 DI 値 = <u>▲27.7 P</u></p> <p>【小売業】売上額 前年同期比 DI 値 = <u>▲22.9 P</u></p> <p>【サービス業】売上(収入)額 前年同期比 DI 値 = <u>▲0.9 P</u></p> <p>■売上単価</p> <p>【製造業】売上(加工)単価 前年同期比 DI 値 = <u>34.0 P</u></p> <p>【建設業】×</p> <p>【小売業】客単価 前年同期比 DI 値 = <u>19.0 P</u></p> <p>【サービス業】客単価 前年同期比 DI 値 = <u>▲0.9 P</u></p>
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	<p>■原材料仕入単価</p> <p>【製造業】原材料仕入単価 前年同期比 DI 値 = <u>80.9 P</u></p> <p>【建設業】材料仕入単価 前年同期比 DI 値 = <u>83.0 P</u></p> <p>【小売業】商品仕入単価 前年同期比 DI 値 = <u>55.9 P</u></p> <p>【サービス業】仕入単価(材料等) 前年同期比 DI 値 = <u>65.4 P</u></p>
エ. 収益の動向	<p>■採算(経常利益)</p> <p>【製造業】前年同期比 DI 値 = <u>▲35.4 P</u></p> <p>【建設業】前年同期比 DI 値 = <u>▲27.1 P</u></p> <p>【小売業】前年同期比 DI 値 = <u>▲39.2 P</u></p> <p>【サービス業】前年同期比 DI 値 = <u>▲19.8 P</u></p>
オ. 設備投資の動向	<p>■設備投資の実施</p> <p>【製造業】回答 48 社の内、8 社実施 (投資内容) 建設機械=5 社、車両・運搬具=4 社、建物=1 社</p> <p>【建設業】回答 48 社の内、8 社実施 (投資内容) 建設機械=5 社、車両・運搬具=4 社、 土地、建物=各 1 社</p> <p>【小売業】回答 84 社の内、6 社実施 (投資内容) 車両・運搬具=3 社、販売設備、OA 機器=各 2 社</p> <p>【サービス業】回答 111 社の内、8 社実施</p>

	(投資内容) サービス=4社、建物、車両・運搬具=各3社 サービス、付帯施設=各2社、土地=1社
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	【製造業】 前年同期比 DI 値= <u>▲11.9P</u> 【建設業】 前年同期比 DI 値= <u>2.2P</u> 【小売業】 前年同期比 DI 値= <u>6.5P</u> 【サービス業】 前年同期比 DI 値= <u>4.6P</u>
キ. 資金繰りの動向	【製造業】 前年同期比 DI 値= <u>▲19.1P</u> 【建設業】 前年同期比 DI 値= <u>▲8.7P</u> 【小売業】 前年同期比 DI 値= <u>▲28.9P</u> 【サービス業】 前年同期比 DI 値= <u>▲15.7P</u>

(2) 来期(令和4年9-12月期)の見通しについて

上記(1)の項目ア~キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

<p>■業況</p> <p>【製造業】前年同期比 DI 値=<u>▲18.7P</u> 【建設業】前年同期比 DI 値=<u>▲20.8P</u> 【小売業】前年同期比 DI 値=<u>▲31.0P</u> 【サービス業】前年同期比 DI 値=<u>▲20.2P</u></p> <p>■売上高</p> <p>【製造業】売上(加工)額 前年同期比 DI 値=<u>▲20.8P</u> 【建設業】完成工事(請負工事)額 前年同期比 DI 値=<u>▲22.9P</u> 【小売業】売上額 前年同期比 DI 値=<u>▲33.8P</u> 【サービス業】売上(収入)額 前年同期比 DI 値=<u>▲21.1P</u></p> <p>■売上単価</p> <p>【製造業】売上(加工)単価 前年同期比 DI 値=<u>25.0P</u> 【建設業】× 【小売業】客単価 前年同期比 DI 値=<u>21.4P</u> 【サービス業】客単価 前年同期比 DI 値=<u>▲11.2P</u></p> <p>■原材料単価</p> <p>【製造業】原材料仕入単価 前年同期比 DI 値=<u>76.6P</u> 【建設業】材料仕入単価 前年同期比 DI 値=<u>68.1P</u> 【小売業】商品仕入単価 前年同期比 DI 値=<u>51.2P</u> 【サービス業】仕入単価(材料等) 前年同期比 DI 値=<u>55.2P</u></p> <p>■採算(経常利益)</p> <p>【製造業】 前年同期比 DI 値=<u>▲31.3P</u> 【建設業】 前年同期比 DI 値=<u>▲25.0P</u> 【小売業】 前年同期比 DI 値=<u>▲32.1P</u> 【サービス業】 前年同期比 DI 値=<u>▲23.4P</u></p> <p>■設備投資の将来の計画</p> <p>【製造業】回答48社の内、5社計画 (投資内容) 建設機械、車両・運搬具=各2社 土地、建物=各1社 【建設業】回答48社の内、5社計画 (投資内容) 建設機械、車両・運搬具=各2社 土地、建物=各1社 【小売業】回答83社の内、6社計画</p>
--

(投資内容)

販売設備=3社 その他=1社 車両・運搬具=1社

【サービス業】回答109社の内、6社計画

(投資内容)

付帯施設=3社、建物、サービス、車両・運搬具=各2社

OA機器、福利厚生施設=各1事業所

■人手過不足の見通し

【製造業】 来期見通し DI 値=▲11.9P

【建設業】 来期見通し DI 値=0.0P

【小売業】 来期見通し DI 値=▲9.7P

【サービス業】 来期見通し DI 値=3.4P

■資金繰りの見通し

【製造業】 前年同期比 DI 値=▲25.6P

【建設業】 前年同期比 DI 値=▲14.8P

【小売業】 前年同期比 DI 値=▲26.5P

【サービス業】 前年同期比 DI 値=▲14.8P

2 業界として抱える問題点・課題について

【製造業】

- 1位：原材料価格の上昇 2位：需要の停滞 3位：製品ニーズの変化
4位：生産設備の不足・老朽化 5位：従業員の確保難

【建設業】

- 1位：材料価格の上昇 2位：従業員の確保難 3位：官公需要の停滞
4位：熟練技術者の確保難 5位：民間需要の停滞

【小売業】

- 1位：仕入単価の上昇 2位：購買力の他地域への流出
3位：需要の停滞 4位：消費者ニーズの変化
5位：店舗の狭隘・老朽化

【サービス業】

- 1位：需要の停滞 2位：材料等仕入単価の上昇 3位：消費者ニーズの変化
4位：人件費以外の経費の増加 5位：店舗施設の狭隘・老朽化

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の上昇による貴団体業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等について記載して下さい。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない</p>
<p>【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>【製造業】</p> <ul style="list-style-type: none">○商品を値上げしたが、売上は落ちなかった。しかし、値上げの波が続きすぎると景気の急落を迎えそうで不安。○原材料等価格の上昇であるが、製品の単価になかなか転嫁も難しい。○コロナは終わったが、物価高で次の問題が発生している。ニーズの変化もあり今後は心配である。○度重なる原材料等の値上げと、売値の調整が難しい物も多く、企業努力だけでは追いつかない。○昨年末からラムが暴騰し今年に入ると牛、豚、鶏、すべての原料が高騰。一部品薄。価格転嫁して何とか対応しているが大手スーパー様などは値上げに 1~2 か月かかるのでその間は低い利益を余儀なくされ、非常に厳しい。 <p>【建設業】</p> <ul style="list-style-type: none">○民間需要の停滞が顕著な上、材料価格の高騰が収益性を悪化させている。○材料費等の単価の上昇により経費等の増加収支が均衡。○コロナ禍において、3年目の夏を迎えるわけだが、材料価格が今年すでに4回目の値上げになり、なかなか設計価格に反映されないのが一番の問題である。 <p>【小売業】</p> <ul style="list-style-type: none">○コロナ及び、物価・原料の高騰などによる仕入単価の高騰や、経費増のため、経営の圧迫などにより、賃上げもなかなか難しい状況。○コロナ、ウクライナ政治で、物価高、大雨も加えられて、8月は売上減です。お客の財布がかたい。 <p>【サービス業】</p> <ul style="list-style-type: none">○帰省やキャンプ客の客数の回復、新規納品先の獲得や近隣での飲食店での新規開業など、当地域の活性化に期待が高まるものの、仕入単価の上昇は続き、設備投資や光熱費の負担は重く、実質的な好転にはほど遠い。○原材料の高騰やコロナ禍による客足の低下を受けて商品の値上げ、在庫を減らし無駄をなくすことを心がけていき、新製品の開発をして客足を上げられるようにしたい。○原油高影響のおかげでだんだんと外注の業者に依頼するデザイナーの単価が上がってきており、自社の業況に影響が出ていると感じる。できるだけ外注を減らし自社の技術を向上させる必要性を感じる。○原材料の高騰が止まらず、価格設定に苦労している。お酒を伴う飲食が減っているように感じ、来客が少なく、全体的に落ち込んでいる。○原油価格高騰等による経費の増加、商品の値上がりによる仕入単価上昇で利益が見込めず厳しい現状が続いている。

(2) 影響がある場合、価格転嫁が業界として進んでいるか記載して下さい（実感としてで結構です）。

<p>【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>全てできている (10割) ・ 概ねできている (9~6割) ・ 半ばできている (5~3割) ・ ほとんどできていない (2割未満) ・ 全くできていない (ゼロ)</p>
<p>【できている部分について具体的な理由を記載してください。】</p> <ul style="list-style-type: none">・ やむを得ず販売価格等を上昇させて対応している。
<p>【できていない部分について具体的な理由を記載してください。】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 取引先(消費者)を失う恐れがあるため。

2 為替相場の変動の影響について

円安による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

※好影響及び悪影響の両側面について、項目 a または b のいずれかを選択願います。

	a. 影響がある場合	b. 影響がないまたはわからない場合
好影響	・大いに影響がある ・影響がある ・多少影響がある	・影響はない ・ わからない
悪影響	・大いに影響がある ・影響がある ・多少影響がある	
<p>【上記項目で a を選択した場合、具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>・ 不明</p>		

3 行動制限のない新型コロナウイルス感染症第7波の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症第7波の感染急拡大による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】

・感染者数が増えてくると、小売業やサービス業で客足の低下等の影響がある。

(2) 感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、時短営業や行動制限が回避されたことから、一定程度人流が確保されたところですが、貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容を記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】

大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容を記載してください。】

・少しずつ客足は増えてはいるが、購買に消極的であったり、感染者数の推移によっては売上減少する等、まだまだ回復とは言えない状況が続いている。

業種別業況動向調査 [令和4年7-9月期]

団体名：北海道中小企業団体中央会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7-9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p>非常に悪い・悪い・やや悪い・横ばい・やや良い・良い・非常に良い</p>
	<p>【主な判断理由】</p> <p>[製造業]</p> <p>○食料品（留萌：水産食料品） やや悪い：為替による負担増と燃油、電気代等経費の上げ幅が予想できないため。</p> <p>○木材・木製品（全道：一般木材） 非常に悪い～横ばい（木材関連）、非常に良い（素材生産）： ・原木不足で単価が高いことには変わり無く、受注量も製材単価も今のところ変わらず。 ・住宅需要の継続的な落ち込みより国産材の需要も減っている。 ・原料価格・生産コスト高騰。 ・需要落ち込みで、価格ピーク時の製品・原料在庫が増加傾向。 ・海外製品の入荷量増加に加え現地価格が下降しているため、高価格在庫対応で経営悪化が懸念される。 ・丸太の単価が昨年の同時期からみて、約 1,000 円～1,500 円上がっているため。</p> <p>○紙・加工紙（全道：加工紙） 横ばい：回復傾向にあるものの燃料や副資材の高騰が重荷である。</p> <p>○印刷（全道：印刷） やや悪い：原材料等の値上げが続き、価格転嫁に苦慮している。</p> <p>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 非常に悪い：生コン出荷量の前年同期比は 95%と低水準。</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） やや良い：造船所各社は円安効果で収益改善につながっているが鋼材・船舶用機器材等の価格高騰が続き経営を直撃している。</p> <p>○一般機器（札幌：金属工作機械） やや悪い：燃料高騰による固定費増とともに原材料の値上げによる今後の経営環境は厳しいものとなっている。</p> <p>[非製造業]</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実） 悪い：道内生産地は昔と違い、地熱などを活用しマンゴーなど南国系フルーツの生産などが盛んになってきたが、道内販路が脆弱なため、ほとんどが関東の市場に行ってしまう、道内生鮮市場流通の底上げにはなっていない。</p> <p>○卸売業（全道：木材） やや悪い</p> <p>○小売業（函館：各種商品）</p>

	<p>良い：9月の当連合会は、昨年は連休中でも緊急事態宣言下のため、旅行客や修学旅行生などもほぼ皆無の状態であったが、今年は行動制限もなく、感染者数も減少傾向にあったことから非常に多くの観光客で賑わった。10月からの全国旅行支援策にも期待したいところである。</p> <p>○小売業（全道：電気機械器具） 横ばい：省エネ商品の拡大は図られているが、半導体不足による商品不足が続いている。</p> <p>○小売業（全道：燃料） 悪い</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） やや悪い：仕入コストを販売価格に100%転嫁できていない。（飼料・運賃・燃料エネルギー等の値上り分）</p> <p>○商店街（帯広：各種商品） 悪い</p> <p>業況の判断D I [現状]（今期の状況）7月～9月 ▲39（悪い） [見通し]（来期見通し）10月～12月 ▲41（悪い）</p> <p>○サービス業（全道：公衆浴場） 悪い：重油の高騰及び光熱費等並びに営業用備品費の値上がり。</p> <p>○サービス業（全道：ソフトウェア） 良い：業務の効率化のためのDX化やクラウド化への投資が相変わらず積極的で、そのためのシステム開発案件が増加している。AI関連やIoT絡みの案件在庫も見込めていることから、今後も業況の上昇傾向が好調に続くことが予測されている。</p> <p>○サービス業（全道：自動車整備） 横ばい：継続検査（車検）台数において昨年の実績をやや上回る実績となったが、新車販売の不振、納車遅れなどのマイナス要因もある。</p> <p>○建設業（札幌：大工工事） 悪い：建築業界では、高齢化や人手不足が問題視されており、人手不足倒産は減少するも、人手不足感は上昇し、後継者難の廃業が増加している。</p> <p>○建設業（札幌：左官工事） 横ばい：完成工事額及び受注額の状況から横ばい。</p> <p>○運輸業（小樽：一般貨物自動車運送） 悪い：燃料代の高騰、人手不足で人件費上昇、貨物量の減少による売上高減。</p>
イ. 売上高、売上単価の動向	<p>[製造業]</p> <p>○食料品（留萌：水産食料品） 売上単価は徐々に上がっている状況だが、この先コスト増をどこまで上乗せできるかは不透明。 売上高は減少しているが幅は予想より小さい。</p> <p>○木材・木製品（全道：一般木材） ・売上高は前年対比で単価上昇分増えている。 ・単価は今年7月に見直して頂いたまま推移している。 ・カラマツ業界は7月までに値上げしたことから、売上（金額）は伸びているが、販売数量は9月頃から減ってきている。 ・売上高、単価ともに大きな変動はない。</p> <p><A社の場合> ・売上単価：国産材：105% 輸入材：120～170%（最大180%） 合板：120～140%</p> <p>○紙・加工紙（全道：加工紙） 原材料や副資材・輸送費の上昇を価格に転嫁したことと業況の</p>

回復傾向で売上高・単価ともに増加。

○印刷（全道：印刷）
 ほぼ横ばい。

○窯業・土石製品（全道：生コンクリート）
 多くの生コンクリート協同組合が4月以降価格改定を実施。

○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）
 円安効果で売上高は増加。

○一般機器（札幌：金属工作機械）
 再値上げによる仕入れ値増により再度の価格転嫁はこれからを予定。

[非製造業]

○卸売業（札幌：野菜・果実）
 販売価格は増加しているものの重量ベースの扱い高は減少している。生鮮品の価格高騰が顕著になっており、販売数量が減少に転じている傾向が顕著となった。

○卸売業（全道：木材）
 横ばい。

○小売業（函館：各種商品）
 8月より鋭意準備を進めて参りました「タマポンギフト」事業ですが、この度、9月中旬に販売開始となり、早速、連日お申し込みをいただいているところである。当連合会の一店逸品ブランド「セレクト朝市」のPRもさることながら、新たなる販路拡大に向け、期待の持てるスタートとなっている。又、9月18日には全国初のブリのアンテナショップ「函館朝市地ブリショップ」が、函館朝市駅二市場内にオープンした。今年開発した「函館ブリ塩ラーメン」をはじめ、函館ブリたれカツ、函館ブリたれカツバーガーが店内飲食できるほか、ブリ加工品も販売されている。初日から沢山のお客様や報道陣が詰めかけ、話題性もあり連日賑わいを見せている。

○小売業（全道：電気機械器具）
 全ての商品が5%~10%値上がり傾向が出ているため単価は上がっている。

○小売業（全道：農業用機械器具）
 大手（クボタ、キセキ、ヤンマー、三菱、NH）はコロナ前より伸ばしている。中小組合員はまだ厳しく仕入れコストを販売価格に転嫁できていない。

○商店街（帯広：各種商品）
 売上高の判断D I
 [現状]（今期の状況）7月~9月 ▲21
 [見通し]（来期見通し）10月~12月 ▲30

○サービス業（全道：公衆浴場）
 統制料金による入浴料金の値上げ。

○サービス業（全道：ソフトウェア）
 システム開発案件数の増加は売上高の上昇につながって増収となる道内中小IT企業が多い。ただ、このところの人件費や電気・ガス料金の上昇や物価高が利益を圧迫し始めているため、IT企業の中には開発単金の高い案件を選別受注するケースも出てきている。

○サービス業（全道：自動車整備）
 やや上昇。

○建設業（札幌：大工工事）
 仕入単価の上昇幅に比べて、販売単価の上昇幅が小さく、コスト上昇が顕著に表れている。

ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向

[製造業]

○食料品（留萌：水産食料品）

原材料・燃料・仕入にかかるコストは全てにおいて上昇している。

○木材・木製品（全道：一般木材）

- ・国有林の素材入札では、高値でなければ落とせず、民材も引き合いは強い。
- ・燃料も高いが電力料金は異常な値上がりで、再生エネルギー利用による再エネ賦課金の需要者負担は誰にメリットがあるのか疑問である。
- ・カラマツは高値維持、トドマツは値下がり傾向、電気代が毎月上昇している。
- ・軽油の単価が少し下がって欲しい。
- ・燃料費が高いままで非常に大変。

<A社の場合>

- ・原木在庫 前年比 トドマツ 280%
カラマツ 78%
- ・仕入価格 前年比 トドマツ 120%
カラマツ 125%
- ・輸入原木 工場着単価は昨年比 220%。7～9月入荷なし。
今後入荷の見通しなし。
- ・輸入製材 昨年比 180%
製材荷動き悪く、在庫過多。
- ・生産経費 石油価格高騰のため、電力費（基本契約料金含む）が高騰。

○紙・加工紙（全道：加工紙）

原材料：印刷紙器原料 15%アップ、段ボール原紙 10 円/Kg アップ。

燃料：上昇。

仕入れコスト：2～3 回上昇。

○印刷（全道：印刷）

大幅に上昇。

○窯業・土石製品（全道：生コンクリート）

生コン原材料費（特にセメント）、生コン運搬費などが上昇。

○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）

造船鋼材・船舶用品の価格高騰が続いている。

○一般機器（札幌：金属工作機械）

原材料は値上げ、燃料等は高騰しており、コスト増となっている。

[非製造業]

○卸売業（札幌：野菜・果実）

青果生産におけるコスト（農薬、肥料、燃料、農機具代）が高騰しており、市場内でも荷受け、仲卸、小売に至るまで流通価格の値上がりが際立っている。

○卸売業（全道：木材）

横ばい。

○小売業（函館：各種商品）

8月の当連合会は、3年ぶりにコロナの行動制限のない中でお盆期間を迎え、今年は道内のみならず、道外の観光客や帰省客で賑わった。ピーク時は駐車場が満車となり渋滞も見られ、食堂では常時行列が目立ったところである。一方で、物販店は、やはり消費マインドが冷え込んでいることもあり、思うように売り上げが伸びなかった。又、食材の高騰により、仕入れに大きな影響が出ており、利益が圧迫しているところである。

○小売業（全道：電気機械器具）

	<p>ガソリンの値上げ、暖房費等のコスト上昇。</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） 現在生活費のほとんどが値上がりしている状態にあり、農業関係に係る物も全て値上がりしている。</p> <p>○商店街（帯広：各種商品） 仕入価格の判断D I [現状]（今期の状況）7月～9月 65 [見通し]（来期見通し）10月～12月 64</p> <p>○サービス業（全道：公衆浴場） 営業に係る全てのものが値上がりしている。</p> <p>○サービス業（全道：ソフトウェア） IT企業にとっての月々の主な原材料コストは人件費とオフィス費用（オフィス賃貸料、電気、ガス、水道 etc.）だが両方の値上がりが続いている。開発単金が伸びないので、結果的に利益を削ることになる。自前の経費節減策は限界に近く、経営サイドの悩みの種となってきた。</p> <p>○サービス業（全道：自動車整備） 上昇。</p> <p>○建設業（札幌：大工工事） 原材料価格の高騰により、各資材も継続的な値上がりを見せており、原材料価格だけでなくコンテナ船など運賃高騰も値上がりに影響を見せている。また、木材価格の高騰は、国内の供給が必要に追いつかない状況にあり、コロナウイルス禍にあってテレワークが増えたことにより、輸出国での住宅建設やリフォームの需要が増えたことも高騰の一因となっている。</p> <p>○建設業（札幌：左官工事） 増加傾向にある。</p>
<p>エ. 収益の動向</p>	<p>[製造業]</p> <p>○食料品（留萌：水産食料品） コストの価格への転嫁が難しく、利益を出すのが容易ではなくなっている。</p> <p>○木材・木製品（全道：一般木材） 【会社によって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造原価がどんどん上がっていく中で収益確保は難しい状況。 ・今のところは採算が取れているが（計画通り）、下期については販売数量の減少だけで治まらず単価も下がるのであれば収益は悪化する。 ・今年度の収益額は前年比同等。 ・仕入・生産コスト高分の価格転嫁が、ギリギリ実施できている状況。 ・現在、丸太の値が良いので、収益率も良い。 <p>○紙・加工紙（全道：加工紙） 現時点では改善。</p> <p>○印刷（全道：印刷） やや悪化。</p> <p>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 原材料等のコストアップは生コン工場で吸収しきれない状況となり、4月以降、多くの生コンクリート協同組合が販売価格の改定を実施。</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 高船価で受注しているが 原材料等の高騰で厳しい状況。</p> <p>○一般機器（札幌：金属工作機械） 経費増による収益低下を招いている。</p> <p>[非製造業]</p>

	<p>○卸売業（札幌：野菜・果実） 他産業分野と違い、食料品なので小売業者も仕入価格が高騰してもすぐに価格転嫁しにくい背景がある。結果、販売利益を圧縮し販売費を削減できず、収益が低下してしまう小売業者が多い。</p> <p>○卸売業（全道：木材） 横ばい。</p> <p>○小売業（全道：電気機械器具） 収益は横ばい。</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） 横ばい状態。</p> <p>○商店街（帯広：各種商品） 収益の判断D I [現状]（今期の状況）7月～9月 ▲25 [見通し]（来期見通し）10月～12月 ▲28</p> <p>○サービス業（全道：公衆浴場） 思わしくない状況である。</p> <p>○サービス業（全道：ソフトウェア） システム開発案件数の増加で増収となっても、人件費の上昇や経費の上昇（電気、ガス etc）を抑えることが現状では難しい。経費節減等の自助努力で持ちこたえてはいるが、予断を許さない状況。</p> <p>○サービス業（全道：自動車整備） 横ばい。</p> <p>○建設業（札幌：左官工事） 横ばい。</p>
<p>オ. 設備投資の動向</p>	<p>[製造業]</p> <p>○木材・木製品（全道：一般木材） 【会社によって】 ・優先順位を決めて機械の入替えや修理はやっている。 ・設備投資も次年度以降に実施予定。 ・来年度稼働予定で再割工場を整備中である。 ・老朽化設備に対する必要最低限の修理及び部品交換は継続 ・老朽化設備の中規模更新を検討しているが、機械類の納期も長期化しているため、更新時期は不透明。 ・状況を見ながら判断したい。 ・計画はあるが今のところない。</p> <p>○紙・加工紙（全道：加工紙） 建設コストや機械の納期や単価が乱高下しているの見合わせている状況。</p> <p>○印刷（全道：印刷） ほぼ横ばい。</p> <p>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 半数近い工場がプラントの更新を課題の一つとして挙げているが、多くの工場は先送り。</p> <p>[非製造業]</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実） 本来、設備投資は、売上増加に対応するため業務効率化を目指して行うものであるが、収益が悪化しており、設備投資を充実させることができない現状がある。</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） 大手企業→投資している 中小企業→投資なし</p> <p>○商店街（帯広：各種商品） 現在設備の判断D I [現状]（今期の状況）7月～9月 ▲10 [見通し]（来期見通し）10月～12月 ▲11</p>

	<p>○サービス業（全道：公衆浴場） 大きな設備投資は出来ない。</p> <p>○サービス業（全道：ソフトウェア） 必要な設備投資はできる限り実施しているが、サーバーや高性能PCは半導体不足の影響で導入遅れも発生している。在宅勤務が増えた分の職場の空きスペースをコミュニケーションの場へリニューアルするなど、職場環境の改善で離職防止につなげる中小IT企業も散見される。</p> <p>○サービス業（全道：自動車整備） 横ばい。</p> <p>○建設業（札幌：左官工事） 横ばい。</p> <p>○運輸業（小樽：一般貨物自動車運送） 定期的車両の入れ替えも価格の高騰で、計画通り進んでいない。</p>
<p>カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、 雇用調整の状況、当面の採用予定など について記入</p>	<p>[製造業]</p> <p>○食料品（留萌：水産食料品） 恒常的に人手が不足しており、人口減など増々人手を集めにくくなっている。</p> <p>○木材・木製品（全道：一般木材） 【会社によって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パート、派遣で何とかやり繰りしているが、将来のことを考えると新卒採用を確保したいが、なかなか応募が無い。 ・若干の不足は派遣社員で調整している。 ・定期的に地元高校新卒者を採用（1名/2年毎） ・地方工場は慢性的な人手不足。 ・依然として、人手は不足状況である。（2人ぐらい） ・人手不足はこれまで同様続いている。 <p>○紙・加工紙（全道：加工紙） 人手不足感が強い。</p> <p>○印刷（全道：印刷） ほぼ均衡がとれている。 雇用調整はほぼ終了している。 定期採用は数社のみで、必要に応じて中途採用を行っている。</p> <p>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 半数近い工場が現状において人手不足。</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 新卒者の定着率が低く人手不足が続いている。 定期的に新卒者の採用・中途採用も実施している。</p> <p>○一般機器（札幌：金属工作機械） 人手不足は続いている。</p> <p>[非製造業]</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実） 業務量が増えているとは言い切れず、人手不足にはなっていないが、組合員をはじめ、高齢化が顕著で後継者問題のほうが大きき問題である。</p> <p>○卸売業（全道：木材） 人手不足であるが、雇用の予定なし。</p> <p>○小売業（全道：電気機械器具） 変化なし。</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具）</p> <p>○商店街（帯広：各種商品） 人手過不足の判断D I</p> <p>[現状]（今期の状況）7月～9月 ▲27 [見通し]（来期見通し）10月～12月 ▲26 現状維持。退職者が出たら補充している。</p>

	<p>○サービス業（全道：公衆浴場） 家族経営が主なので変化なし。</p> <p>○サービス業（全道：ソフトウェア） 好調なシステム開発案件の受注増加が道内中小 IT 企業の人材不足を引き起こし、DX化やAIの導入、クラウド化の波が、一般企業でも技術者の採用を活発化して、技術人材不足がさらに深刻化している。また、採用企業の賃金上昇が、技術人材の離職を加速させて、人材確保の難しさに拍車をかけている。道内中小 IT 企業の23年度の新卒者の採用確保も望み薄で、来期(4月以降)も同様の状態が続くと予測されている。</p> <p>○サービス業（全道：自動車整備） 整備士資格をもった若年層の人材確保が難しい状況が続いている。</p> <p>○建設業（札幌：大工工事） 現場で働く技術者や技能労働者の人手不足が深刻になっており、若手人材の確保だけでなく多様な対策が必要と思われる。そのためには中途採用の促進、女性や高齢者の雇用促進が望まれる。建設業界は労働時間が長く、休日もなかなか取得できない環境にあることから早期の改善が必要である。</p> <p>○建設業（札幌：左官工事） 変化なし。</p> <p>○運輸業（小樽：一般貨物自動車運送） 常に不足しているので常に募集している状況である。</p>
キ. 資金繰りの動向	<p>[製造業]</p> <p>○食料品（留萌：水産食料品） 今のところ悪化の方向にはないが、この先の原材料や輸送コスト、また人件費の増にどこまで対応できるか不透明。</p> <p>○木材・木製品（全道：一般木材） 【会社によって】 ・今のところ何とかなっている。 ・特に問題無いが若干悪化。 ・短期借入れを増加。 ・現在は良好。 ・今のところ問題なし。</p> <p>○紙・加工紙（全道：加工紙） 特に変化はない。</p> <p>○印刷（全道：印刷） ほとんど変化がない。</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 良好（手形サイトも従来通り）</p> <p>[非製造業]</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実） 業務繁忙ではないので業務拡大に伴う資金繰り需要は多くはないと思われる。</p> <p>○小売業（全道：電気機械器具） 変化なし。</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） 当組合企業での不安はない。</p> <p>○商店街（帯広：各種商品） 資金繰りの判断D I [現状]（今期の状況）7月～9月 ▲20 [見通し]（来期見通し）10月～12月 ▲21</p> <p>○サービス業（全道：公衆浴場） 思わしくない状況である。</p> <p>○サービス業（全道：ソフトウェア）</p>

	<p>資金繰りについては好調業種でもあることから、問題はない状態。必要な場合は短期融資で取引銀行から借り入れている。</p> <p>○サービス業（全道：自動車整備） 横ばい。</p> <p>○運輸業（小樽：一般貨物自動車運送） だんだんと厳しくなってきたと思われる。</p>
--	---

(2) 来期（令和4年10～12月期）の見通しについて

上記（1）の項目ア～キの観点に基づき、来期の見通しを適宜ご記入願います。

	<p>[製造業]</p> <p>○食料品（留萌：水産食料品） 先行きの不透明感が濃く手探り状態となっている。売上の的には大きく落ち込むことはないと思うが、この先の原材料の調達などこれからの動向を注意深く見極める必要がある。</p> <p>○木材・木製品（全道：一般木材） ・これ以上の値上げの要請は不可能なことから、製造原価の削減しか利益確保の道は無いと思われるが、原価が上がる要素はあるが下げられる要素は皆無。したがって、来期見通しは明るい要素は無い。 ・建築材需要減少、輸入製材価格下落で、道産製品の競争力低下、販売不振。 ・この状況は、まだ当分続きそうではないかと思う。 ・冬期間にかけて発注が落ち着くと思うが、円安が急には止まらないと思うので横ばいの見通し。</p> <p>○紙・加工紙（全道：加工紙） 冬季に入り原燃料価格・副資材価格の上昇が重くのしかかる。 生産量の閑散期に入り景気の回復具合が心配である。 年末の需要期になるので売上が期待されるが、原材料費・間接経費等の上昇で収益は圧縮される。</p> <p>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 生コン出荷量については、新幹線以外の特需はなし。札幌は再開発による潜在需要はあるものの現状は端境期。</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 新造船マーケットも好調で船価の上昇も続いて、船舶用品などの納期の長期化状況も大きく改善しているようで正常化に向かって、円安効果で見通しは明るい状況。</p> <p>○一般機器（札幌：金属工作機械） 原材料等の再値上げにより、価格転嫁を予定しているが、数量減により売上低下となる可能性もあり、先行き不透明である。</p> <p>[非製造業]</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実） 年末にかけて見通しは年末需要に多少なりとも需要が見込まれるが、コロナ感染の収束が期待できるかどうかで来期の販売拡大、収益の向上が定まると思われる。</p> <p>○卸売業（全道：木材） 不需要期に入るため、売り上げは落ちる。来期の住宅着工は減ると思われる。</p> <p>○小売業（函館：各種商品） 10月から新たな観光需要喚起策「全国旅行支援」がスタートするので、大いに期待できるところだが、観光面では期待する反面、一気に経済が動き出すことで第8波が訪れ、これからの書き入れ時の年末商戦に向けて不安な面もある。</p> <p>○小売業（全道：電気機械器具） 物価上昇により、買い控えが出ているため、悪い方向に進む予想をしている。</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） 物価上昇と冬季に向けてコロナ感染第8波の不安、エネルギー問題と不安要素が多く、経済活動の縮小が懸念される。農作物の収穫時期が終わり、来年度に向け農家の事業継続計画を作成する時期である。</p> <p>○商店街（帯広：各種商品） 地元金融機関の小売業の業況判断D I [見通し]（来期見通し）10月～12月 ▲41</p> <p>○サービス業（全道：公衆浴場） 全てにおいて高止まりであれば経営状況は悪化すると思う。</p> <p>○サービス業（全道：ソフトウェア） DXやAI、IoT、5G、クラウド化等のデジタル化の波によって、システム開発案件が首都圏大手企</p>
--	---

業や大手システム開発企業から道内中小 IT 企業に発注されて、受注残案件を抱える中小 IT 企業が多いことから、今年度や来期以降も増収を確保できると予測されている。問題は人材不足の解消や、離職者防止であり、電気・ガス料金や物価の高騰、使用機材の価格の上昇が今後も利益を圧迫する要因となるのは必至で、逆に出張旅費や交通費の削減が利益貢献となるが、案件単価の伸びが期待できないことを勘案すると来期及び今年度全体は増収減益を予測する道内中小 IT 企業が多い。

○サービス業（全道：自動車整備）

横ばい若しくは、やや減少。

業務の平準化は進んでいるものの、継続検査（車検）の台数は周期的に増減があり、本年は減少する年である。

○建設業（札幌：左官工事）

横ばい。

○運輸業（小樽：一般貨物自動車運送）

厳しい。

2 業界として抱える問題点・課題について

[製造業]

○食料品（留萌：水産食料品）

人手不足が最大の課題。

○木材・木製品（全道：一般木材）

- ・将来的な資源確保、電力料金の安定化（原発稼働も視野に）
- ・人材確保のために働き方改革（休日の確保、残業時間の短縮）、賃金上昇を本気でやっつけていかなければ業界としての人材確保は難しい。
- ・道産原木の輸出・移出による道産原木不足。
- ・建築需要の低迷による、地場工務店の廃業。
- ・運送業者不足に加え、輸送費高騰。
- ・地方企業の人材不足（人員数、技術力）。
- ・働き方改革、最低賃金上昇による、人件費・間接コストの高騰。
- ・物不足、入荷遅れで、企業活動の遅延、収益低下。
- ・人材の高齢化と不足が大きな問題。

○紙・加工紙（全道：加工紙）

- ・利益率が低いと給与体系に問題がある。繁閑の差が大きく、夏は残業・冬は設備の休転が多い。
- ・原紙メーカー・貼合メーカー・ボックスメーカーの棲み分けが出来てなく無秩序である。

○印刷（全道：印刷）

- ・需要の減退・必要とするスキルを持った人材の確保・人材育成・働き方改革・DXへの対応・ゼロカーボン
- ・原材料価格上昇分の製品価格への転嫁の理解。

○窯業・土石製品（全道：生コンクリート）

人材確保と技術者の育成。地方において、生コンを供給する工場体制を維持するためには一定量の需要が必要。このため、地方における生コン需要の創出（コンクリート舗装等）が課題。

○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）

造船業 発展していくためには、人材確保・人材育成・定着率の向上が重要課題で重点的に取り組んでいく必要がある。

○一般機器（札幌：金属工作機械）

需要構造の変化。

[非製造業]

○卸売業（札幌：野菜・果実）

人材育成、働き方改革、DX、組合員高齢化。

○小売業（函館：各種商品）

物価の高騰や異常気象による天災など、昨今は暗い話題ばかりで、世間の消費マインドも一向に上がってこない情勢が続いている。当連合会では、2年前のGoTo トラベル「地域共通クーポン」の影響が非常に大きく額面規模で1億円以上の経済効果があったので、それに変わる新たな経済施策を一日も早く実施いただき、消費マインドの回復を願いたい。

○小売業（全道：電気機械器具）

店主の高齢化と後継者不足が続く、個人店のウエイトは10%を切り、存在感の薄くなっていく状況のなか、今後どう展開していく検討中。

○小売業（全道：燃料）

7～9月期の中東原油動向を見ると、概ね下落傾向で推移し、9月末には1バレル当たり90ドルを下回る水準となった。

こうした中、政府の燃料油価格激変対策事業により、ガソリンのSS店頭価格は高値ながら比較的安定して推移し、9月は1リットル当たり平均167円程度となった。また、ガソリン出荷量については、全国ベースで見ると、引き続きコロナ禍前の水準には戻っていない。

○小売業（全道：農業用機械器具）

農業従事者の高齢化、担い手不足、重労働、汚い、等々農業を取り巻く環境は以前にまして厳しく、コロナ、物価上昇と更に厳しい状況にある。それでも、農業機械のAIの活用（自動田植機、自動トラクタ・ドローンでの労働の軽減）、酪農業の自動化（乳搾り）等と労働力不足解消のため努力しているところである。

- ・経営上の問題点 ～ 売上の停滞・減少、仕入先からの値上げ要請、人手不足、
商圏人口の減少、利幅の縮小、同業者間の競争の激化
- ・当面の重点経営施策 ～ 経費を節減、品揃えの改善、売れ筋商品を取扱、人材の確保、

広告の強化

○サービス業（全道：公衆浴場）

経営者の高齢化、後継者不足、設備の老朽化。

○サービス業（全道：ソフトウェア）

IT業界全体として経営上の問題・課題は相変わらずの技術人材不足で、システム開発案件の打診は多いが受注に対応しきれていない道内中小IT企業が多い。また、道内へ進出する本州のIT企業の活発な人材採用への対抗策として、離職防止を含めての賃金上昇はやむを得ない状況。中途採用者獲得のためのコスト、そして電気・ガス料金等の物価高が利益を圧迫し始めている。

○サービス業（全道：自動車整備）

整備士資格を持った若年労働者の人材確保難。新機構（自動運行装置、衝突被害軽減ブレーキ）や新しい制度（電子車検証、OBD検査など）へ対応した知識、技能の習得が課題となっている。

○建設業（札幌：大工工事）

建設業界では、高齢化や人材不足が問題視されているが、建築需要は今後も加速が予想されるため労働力の確保に向けた行動が必要とされる。少子高齢化社会といえど総人口は多いため景気を牽引する業界と思っている人は多い。このことが地方活性化にもつながると思う。働きやすい業界にしておくため、業務の効率化、生産性向上を目指すことが重要であり、今後の業界をより大きくしていくために、ITツールの活用やAI導入も必要になると思う。

○建設業（札幌：左官工事）

人材確保。

3 道の施策等に対する意見、要望について

[製造業]

○食料品（留萌：水産食料品）

このまま燃料、電気代が上がり続けると負担が過大になりすぎるため、何らかの補助、対策が必要。

○木材・木製品（全道：一般木材）

- ・道産原木の道外移出量が増加している。

地方自治体等へ、地域材を地域で使う「地材地消」を後押しする施策と合わせて、地域材原料確保の施策・支援をお願いしたい。

- ・輸入材価格下落の兆候が有る。

道産原木単価が高値維持の状態であるため、早めの対応策ご検討をお願いしたい。

- ・田舎に就職する人への支援をお願いしたい。

- ・特に北海道を支える一次産業に就職する人には手厚く対応願いたい。

○紙・加工紙（全道：加工紙）

北海道が一次産業だけの場所ではなく、製品の生産の場とならなければならない。東京は大消費地だが、北海道も住みやすいことをPRして、交通手段や費用対策を検討して、人口を増やす努力をして、地場消費を拡大しなければならない。

○窯業・土石製品（全道：生コンクリート）

ライフサイクルコストで有利となるコンクリート舗装の普及拡大。

[非製造業]

○卸売業（札幌：野菜・果実）

生鮮流通の維持のために必要な出荷奨励金が7年前に道の予算から削除されてしまい、生産者が北海道まで出荷せず首都圏までの出荷にとどめてしまう状況が長く続いている。再度このような青果生鮮流通に資する予算を構築してもらいたい。

○卸売業（全道：木材）

物価高に対する業界の手助けになるよう何かないか検討して頂きたい。

○小売業（函館：各種商品）

「どうみん割」や「全国旅行支援」について、平日・休前日だけではなく、もう少し季節的な閑散状況を見極めて取り組んでいただきたい。

又、クーポン配布も有難いことだが、なんでもかんでも同じクーポンではなく、国の支援策などは、交通インフラの大幅な割引（飛行機の片道無料や新幹線の7～8割引、レンタカーの半額やガソリン代支援、高速道路代無料）など地方自治体のそれとは違った支援策を講じていただき、社会全体としての消費マインドの回復を願いたい。

○小売業（全道：電気機械器具）

個人店活性化のためのゼロカーボンの具体的な商品キャンペーンをしてほしい。

○小売業（全道：農業用機械器具）

道による米農家、畑作農家、酪農家に区分した対策事業。

○サービス業（全道：公衆浴場）

重油・光熱費・消耗品等営業に係る経費の支援制度があればよい。

○サービス業（全道：ソフトウェア）

道が施策として、どのような中小企業対策を展開しているのかがよく見えず、ほとんど政府主導の施策に相乗りしているだけのように見える、財源の問題もあるだろうが、もう少し独自色をPRすべきではないか。

II 特別調査

1 原油・原材料価格等高騰の影響について

(1) 原油・原材料価格等の上昇による貴団体業界への影響の有無と、その具体的な内容や対応等について記載して下さい。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p style="text-align: center;">大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない</p>
<p>[製造業]</p> <p>○食料品（留萌：水産食料品） 影響がある：原材料輸入にかかわる輸送コストの上昇。</p> <p>○木材・木製品（全道：一般木材） 大いに影響がある 原油と為替の影響で、電力料金の基本料金はこの12月に再度値上がり予定。 前年比172%、前々年比238%とあり得ない数字になっている。 原材料価格上昇による影響～道産製材販売量の低迷、住宅着工数の減少 原油価格上昇による影響、生産コストの上昇～輸入原木・製材、合板、防腐処理薬剤、塗料、電力費、乾燥機ボイラー灯油、輸送費 軽油の高値が収益率に響いてくる。 燃料の上昇と物価高に対応して従業員の人件費を一定程度上げているため非常に厳しい。</p> <p>○紙・加工紙（全道：加工紙） 影響がある：原材料シート・燃料・電力費・インク・梱包材・輸送費・接着剤・車両価格（自動車・リフト）</p> <p>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 大いに影響がある：原油価格の高騰により、セメント・骨材などの原材料費が上昇、生コン運搬費も上昇。特に、セメントの製造時に使用するロシア炭の輸入禁止に伴い、セメント価格が大幅に上昇。</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 影響がある：船舶製品に関する電機部品等の納期の長期化・数量不足などの問題が生じている。</p> <p>○一般機器（札幌：金属工作機械） 影響がある：電気・ガス（都市ガス）料金の負担増</p> <p>[非製造業]</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実） 大いに影響がある：生産者のハウス栽培における暖房費用の高騰、農耕機械の燃料代、原油を原料に作られる化成肥料、農薬の高騰、圃場維持の電気設備の電気代。</p> <p>○卸売業（全道：木材） 影響がある：原料高、輸送コストの増大のため製材価格の高止まり。</p> <p>○小売業（函館：各種商品） 大いに影響がある：エネルギー資源の高騰は、直接的な店舗運営への影響のみならず、第一次産業の燃料コストにも大きく響き、引いては原材料の高騰にも繋がる場所である。又、商業地であるこの当連合会のエリアは、施設内の冷房や電気を節約したくともお客様本位で考えるとなかなか削減するわけにもいかず、苦しい状況である。</p> <p>○小売業（全道：燃料） 大いに影響がある：原油価格の高騰は、そのままガソリン等石油製品の仕入価格の上昇となる。石油販売事業者としては、SS店頭価格に上昇分を転嫁せざるを得ない。</p> <p>○小売業（全道：電気機械器具） 大いに影響がある：商品生産がほとんど中国やアジア圏に集中しているため、運賃や半導体、部品の値上がりが商品価格に反映されている。</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） 影響がある：生産育成飼料（農産物全て）、配送費、梱包資材。</p> <p>○サービス業（全道：公衆浴場） 大いに影響がある：重油は営業用燃料の要である。</p> <p>○サービス業（全道：ソフトウェア）</p>

多少影響がある：原油・原材料価格等の高騰が、電気・ガス料金やガソリン価格の上昇となり、利益圧迫の要因。IT企業は電気がないと業務遂行できない業種のため、サーバーやPCを動かす電料金の値上がりや、オフィス環境整備のための必要投資、商用車のガソリンの値上げ等々の経費増がボディブローのように効いてくる。今後も値上がりが続くとオフィス経費の増加につながり、システム開発案件の単価値上げが難しいことから利益を削らざるを得ない。従業員の賃金上昇と相まって業績に大きなマイナスインパクトを与えることになる。原油・原材料価格等の高騰に対して当組合として統一的な対策は取っていない。すべて個々の組合員企業が独自の対策を実行している。

○サービス業（全道：自動車整備）

影響がある：ギヤオイル等の油脂類の値上がりし、調達しにくい状況がある。

○建設業（札幌：大工工事）

○建設業（札幌：左官工事）

影響がある：材料の仕入れ単価は上昇しており、請負金額に反映できるよう事業所ごと調整している。

○運輸業（小樽：一般貨物自動車運送）

大いに影響がある

(2) 影響がある場合、価格転嫁が業界として進んでいるか記載して下さい（実感としてで結構です）。

【業界としての平均値に該当するものを○で囲んでください。】

全てできている（10割） 概ねできている（9～6割） 半ばできている（5～3割） ほとんどできていない（2割未満） 全くできていない（ゼロ）

[製造業]

○食料品（留萌：水産食料品）

ほとんどできていない

[できていない具体的な理由]

価格の転嫁はケース・バイ・ケースで単純に単価の上昇がなされてもそのための製造コスト、手間が増え利益の確保に苦慮している。

○木材・木製品（全道：一般木材）

概ねできている～半ばできている（木材関連）、全くできていない（素材生産）

[できている具体的な理由]

- ・現状では概ねできているが、今後の値上がり分については交渉が難しい。
- ・双方の適正価格の調整・理解が進んだ。
- ・ある程度、原材料の上昇分は転換させた。

[できていない具体的な理由]

- ・更なる生産コスト上昇のスピードに、価格転嫁・告知が追い付かない。
- ・商社が出ている利益を考えるともっと上げたいが、取引先との関係もあることから難しい。

○紙・加工紙（全道：加工紙）

半ばできている

[できている具体的な理由]

年初に価格改定を実施した分の余力があるが、後半分はこれからである。

○窯業・土石製品（全道：生コンクリート）

半ばできている

[できている具体的な理由]

年度当初に価格改定を実施した協組については、上期後半に積算価格に反映された。

[できていない具体的な理由]

10月にセメント各社が再値上げを実施したことを受け、各地の協組は生コン価格の再値上げを検討せざるを得ない状況となり、今後実施予定。

○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）

概ねできている

○一般機器（札幌：金属工作機械）

半ばできている

[できていない具体的な理由]

複数回の値上げを余儀なくされており、これまでは5割程度であり今後は未知数。

[非製造業]

○卸売業（札幌：野菜・果実）

ほとんどできていない

[できていない具体的な理由]

衣食住の中でもとりわけ食に関する重要度は大きく、消費者相手の商売のため、販売利益を削ってなるべく価格の維持に努める経営姿勢になってしまっている。

○卸売業（全道：木材）

半ばできている

○小売業（函館：各種商品）

ほとんどできていない

[できていない具体的な理由]

世間の消費マインドも停滞している状況下において、エネルギーの高騰をそのまま販売価格に転嫁することは、消費低迷を益々加速させてしまうのではないかと、なかなか踏み切れないところである。

○小売業（全道：燃料）

概ねできている

[できている具体的な理由]

石油販売事業者としては、仕入価格上昇分を販売価格に転嫁せざるを得ない。現在、政府の激変緩和対策事業により、SS店頭では高値ながらも比較的安定した価格で販売しているが、こうした中においても安値販売する事業者がおり、地場中小零細企業への影響が懸念される。

○小売業（全道：電気機械器具）

概ねできている

[できている具体的な理由]

仕入価格上昇のため、希望価格・販売価格が高くなっている。

○小売業（全道：農業用機械器具）

半ばできている：

[できている具体的な理由]

粘り強く取引先に状態を説明している。

[できていない具体的な理由]

取引先（農家）も利益確保に苦慮しているため。

○サービス業（全道：公衆浴場）

ほとんどできていない

[できていない具体的な理由]

入浴料金が物価統制令の制限を受けており、自治体に委ねられている。

○サービス業（全道：ソフトウェア）

ほとんどできていない

[できている具体的な理由]

本来であれば、発注元とシステム開発案件見積もり時に価格転嫁的に開発単金の値上げを要求すべきであるが、道内中小IT企業は二次、三次受注が多く現状単金の維持を求められる事が多い。今後も継続した交渉を続けることになる。発注元から直接受注するケースは少ないが単金アップできるケースもあるものの、期待通り金額には及ばないという。

[できていない具体的な理由]

現状では新規取引先についてはシステム開発の品質よりも納期や価格重視になりがちのため、他社との競合もあり、単金アップの見積もりはなかなか出しづらい。将来を見据えて単金を削っても獲得したい案件もあるため臨機応変に対処せざるを得ない。従来からの取引先については、過去からの取引の延長線のシステム開発が多いため、取引先を失うリスクは少ないが、二次、三次受注の場合は発注元の利益を削ることにもなるので、交渉が難しく現状通りの単金維持となるケースが多い。

○サービス業（全道：自動車整備）

半ばできている

[できている具体的な理由]

オイル等の部品料金など仕入値の上昇が大きく、価格転嫁せざるを得ない状況であったこと。

[できていない具体的な理由]

少額部品や帳票類においては、一部転嫁できていないところがある。

○建設業（札幌：左官工事）

半ばできている

[できている具体的な理由]

発注側の適正価格への理解は進んでいると思われる。

[できていない具体的な理由]

個人相手の場合は、取引先を失う恐れがあるため。

○運輸業（小樽：一般貨物自動車運送）

ほとんどできていない

(3) (ほとんど、全く) できていない場合、コストの上昇分をどのように吸収している企業が多いか記載して下さい。

[製造業]

○食料品（留萌：水産食料品）

経費削減、販売サイズの変更。

[非製造業]

○卸売業（札幌：野菜・果実）

仕入方法の変更、営業利益の圧縮により対応。

○小売業（函館：各種商品）

今もなお、コロナの影響は大きく、まだまだ売り上げが回復してこないことから、どの店舗にとっても経費負担に影響が出ると考えられる。従って、最終的には商品を購入される消費者にも何らかの影響を及ぼす事態かと思う。

○小売業（全道：農業用機械器具）

今のところ吸収の方法がなく、利益を下げて販売している。

○サービス業（全道：公衆浴場）

営業時間の短縮・営業日数を減らす。

○サービス業（全道：ソフトウェア）

省エネ機材の導入、賃借スペースの返却、長時間労働の削減や出張旅費の削減 等を組合員企業が個別に経費節減策に取り組んで利益確保につなげているものの、今後の物価上昇や先行きの予測がつかず、現状ではこれ以上の回避策が見当たらない。

2 為替相場の変動の影響について

円安による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】		
※好影響及び悪影響の両側面について、項目 a または b のいずれかを選択願います。		
	a. 影響がある場合	b. 影響がないまたはわからない場合
好影響	・ 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある	・ 影響はない ・ わからない
悪影響	・ 大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある	
<p>a. 影響がある場合 (好影響) [製造業] ○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 大いに影響がある：輸出船建造を行っている造船所は、円安効果で売上増と収益増にも影響している。</p> <p>(悪影響) [製造業] ○食料品（留萌：水産食料品） 影響がある：輸入原材料の高騰。 ○紙・加工紙（全道：加工紙） 影響がある：燃料費の上昇に伴う主原料や副資材の高騰。 ○小売業（函館：各種商品） 影響がある：輸出商品の売上増加など</p> <p>[非製造業] ○卸売業（札幌：野菜・果実） 大いに影響がある：円安の影響で海外に多くの農産物を買われてしまうため、国内流通量が減少し、国内価格が高騰してしまう。 ○卸売業（全道：木材） 多少影響がある ○小売業（全道：燃料） 影響がある ○小売業（全道：電気機械器具） 影響がある：商品が値上りし、消費者に買い控えが進む。 ○小売業（全道：農業用機械器具） 影響がある：輸入インプルの仕入価格の高騰。 ○運輸業（小樽：一般貨物自動車運送） 大いに影響がある：輸入原料・資材等の高騰。</p> <p>b. 影響がないまたはわからない場合 [製造業] ○木材・木製品（全道：一般木材） わからない ○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 影響はない</p> <p>[非製造業] ○サービス業（全道：公衆浴場） 影響はない ○サービス業（全道：ソフトウェア） 影響はない ○サービス業（全道：自動車整備） わからない ○建設業（札幌：左官工事） わからない</p>		

3 行動制限のない新型コロナウイルス感染症第7波の影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症第7波の感染急拡大による貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容や対応について記載してください。

<p>【該当するものを○で囲んでください。】</p> <p style="text-align: center;">大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない</p>
<p>【具体的な影響の内容及び対応を記載してください。】</p> <p>[製造業]</p> <p>○食料品（留萌：水産食料品） わからない</p> <p>○木材・木製品（全道：一般木材） 多少影響がある～わからない ・工場、事務所で入れ替わり立ち代わり陽性者が出ていることから、人手不足による生産性の低下。 ・今までのコロナ対策と変わりはない。 ・商業施設の改築・建替え等需要の縮小。</p> <p>○紙・加工紙（全道：加工紙） 影響がある：感染者の欠勤による生産性の低下・人員の補充、お土産・業務用製品の受注の低下。</p> <p>○窯業・土石製品（全道：生コンクリート） 影響はない</p> <p>○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品） 多少影響がある：中国等からの船舶用品等の納期遅れが心配である。</p> <p>○一般機器（札幌：金属工作機械） わからない：社会経済活動の自粛・縮小は悪影響と認識している。</p> <p>[非製造業]</p> <p>○卸売業（札幌：野菜・果実） 影響がある：飲食・宿泊業でのキャンセルの増加、各種イベントの延期・中止。</p> <p>○卸売業（全道：木材） 多少影響がある：催し物が開催できない。</p> <p>○小売業（函館：各種商品） 影響はない：今回は行動制限がなかったため、あまり影響はなかったように感じる。</p> <p>○小売業（全道：燃料） わからない</p> <p>○小売業（全道：電気機械器具） 多少影響がある：個別の訪問がしにくい。売り出し計画ができない。</p> <p>○小売業（全道：農業用機械器具） 影響がある：従業員の感染による職場の閉鎖、展示会の開催の中止または延期。</p> <p>○サービス業（全道：公衆浴場） 多少影響がある：全体的に利用者が減少。</p> <p>○サービス業（全道：ソフトウェア） 影響がある：感染者の拡大で考えられる団体や業界への影響は、当たり前ながら道内中小 IT 企業の個別業績への収益インパクトにつながる。IT 業界は人材の量と質で支えられていることから、企業内に感染者が発生した場合、その規模にもよるが、 ① システム開発案件の納期遅延が発生して賠償問題につながる可能性がある。 ② さらに人材不足が発生して既存社員への過重労働負荷がかかる。 ③ 新規案件の受注ができず、今後の事業運営に懸念が生ずる。 が考えられる。そのため、対応として感染予防策の基本であるマスクの装着、うがい・手洗い、人ごみの中に行かない等の三密の回避や早期のワクチン接種を呼びかけている。</p> <p>○サービス業（全道：自動車整備） 多少影響がある：従業員の感染、濃厚接触者の発生、人員不足による過重労働、納期遅れ、会議、研修、講習への欠席。</p> <p>○建設業（札幌：左官工事）</p>

多少影響がある：従業員感染者や濃厚接触発生の際の人員確保が困難。
○運輸業（小樽：一般貨物自動車運送）
影響がある

（２）感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、時短営業や行動制限が回避されたことから、一定程度人流が確保されたところですが、貴団体（業界）への影響の有無とその具体的な内容を記載してください。

【該当するものを○で囲んでください。】
大いに影響がある ・ 影響がある ・ 多少影響がある ・ 影響はない ・ わからない

【具体的な影響の内容を記載してください。】

[製造業]
○食料品（留萌：水産食料品）
わからない
○木材・木製品（全道：一般木材）
影響はない
○紙・加工紙（全道：加工紙）
多少影響がある：お土産・業務用製品の受注の回復傾向。
○鉄鋼・金属（室蘭：金属製品）
多少影響がある
○一般機器（札幌：金属工作機械）
わからない：業界全体としてはこれからの動向を注視。

[非製造業]
○卸売業（札幌：野菜・果実）
影響がある：経済活動が活況を呈すれば需要が増すが根本的には原料高と円安基調の改善を期待したい。
○小売業（函館：各種商品）
大いに影響がある：行動制限がないことから、コロナ前の通常に近いかたちでの賑わい状況が見受けられた。
○小売業（全道：燃料）
わからない
○小売業（全道：電気機械器具）
多少影響がある：各地区で対面の会議が開催され、具体的な提案がしやすくなる。
○小売業（全道：農業用機械器具）
影響がある：対面販売が可能になる。展示会の開催、対面会議。
○サービス業（全道：公衆浴場）
多少影響がある：入浴客には高齢者も多く、外出自粛が定着し元に戻るには時間が必要。
○サービス業（全道：ソフトウェア）
多少影響がある：感染自体が収束しておらず、第8波のリスクも抱えているので本来（発生前）の事業活動に戻すことに否定的な道内中小IT企業が多い。ただ、一部の中小IT企業が新規案件獲得のために対面営業で他社との差別化営業や、テレビ電話との併用で効率的な営業ができるようになった、発注元への役員、管理職の訪問で、顧客との相互理解や関係性強化が少なからずできるようになった、との状況変化の話はあった。
○サービス業（全道：自動車整備）
多少影響がある：貸切バス、タクシー等の休車が減り、車検台数の増などが期待される。
○建設業（札幌：左官工事）
多少影響がある：他市町等の出張が容易になった。
○運輸業（小樽：一般貨物自動車運送）
大いに影響がある

(3) ウィズコロナ・アフターコロナ等に対応するため、どのような取組みをしている、または今後実施しようとしていますか。

また、取組みの実施にあたり、課題や障壁になっていることはありますか。

【取組みの内容】

[製造業]

○木材・木製品（全道：一般木材）

- ・社内での全体で集まる機会は月1度に行っている。
- ・大勢での飲食は控えるようにしている。
- ・新たな商品・サービスの提供。
- ・既存の商品・サービスの提供方法の見直し。

[非製造業]

○卸売業（札幌：野菜・果実）

会議、事務手続き、営業活動、顧客窓口等のオンライン化、基本的な感染予防対策。（消毒・マスク）

○小売業（全道：電気機械器具）

オンライン会議の推進。

○小売業（全道：農業用機械器具）

事務方のテレワーク、各地区から集合してのWEB会議。

○サービス業（全道：公衆浴場）

衛生管理の徹底。

○サービス業（全道：ソフトウェア）

一番の恐れは、技術人材が感染すると生産性の低下を引き起こしてシステム開発案件の納期遅れの発生による売上減に至ることであり、私生活を含めて感染回避行動を常に呼びかけている。会員企業独自の特別な回避策を講じているとは聞こえてこない。当組合の統一した取組みも実施していないが、マスクの装着、うがい・手洗い、早期のワクチン接種という基本活動の徹底を会員企業内で実施している。

○サービス業（全道：自動車整備）

顧客（ユーザー）の来店予約のオンライン化などが一部ディーラー等で進んでいるが、中小の事業者では設備投資などで難しい。

【課題や障壁】

[製造業]

○木材・木製品（全道：一般木材）

原料不足、物不足、人材不足。

[非製造業]

○卸売業（札幌：野菜・果実）

自社内の知識・技術力の不足。

○小売業（全道：農業用機械器具）

人材不足。

○サービス業（全道：ソフトウェア）

基本活動の取組みあたっての課題や障壁は特別ない。当業界は人材の質と量が事業を左右するため、たださえ人材不足の状態が続いている中で、感染者の発生で事業推進にブレーキがかかることが一番の恐れであり、感染者の発生が極力出ないように注意を喚起することの継続しかない。

(4) 今後の新型コロナウイルス感染症に係る国や道の支援策について要望をお聞かせください。
(自由記載)

[非製造業]

○卸売業（札幌：野菜・果実）

支援については、業種によって支援策の選別を行っていただきたい。

○小売業（函館：各種商品）

10月から「全国旅行支援」がスタートするが、その影響により仮に第8波が訪れるような状況になっても、行動制限は掛けずにウィズコロナで物事を進めていただきたい。

○小売業（全道：電気機械器具）

コロナウイルスも2年以上続いている状況下では、いつまでも日本だけマスクをつけていても意味はない。マスクをしなくても良い方向に進むべき。風邪としてとらえてもいいのではないか。

○サービス業（全道：ソフトウェア）

新型コロナウイルスが今後どのように感染拡大するのか、収束に向かうのか不透明だが、今後もワクチンの無償接種や無償検査体制の継続を要望する。

業種別業況動向調査 [令和4年7—9月期]

団体名：北海道信用保証協会

I 一般調査

1 業界の動向

(1) 今期（令和4年7—9月期）の現状について

項目	内容
ア. 業界団体における業況感	<p>【現状】</p> <p>■保証状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度（9月末時点）の保証承諾は9,959件（前年同月比101.0%）、118,517百万円（前年同月比97.7%）。多くの中小企業では、コロナ資金の返済据置などにより、資金需要が落ち着いているためと推察されるが、海外情勢の緊迫化や原油価格、建築資材価格の高騰など経営環境の厳しさは強まっており、今後の動きが注視される。 業種別（主要業種）では、建設業34,646百万円（前年同月比103.6%）、サービス業20,016百万円（前年同月比88.7%）、卸売業14,977百万円（前年同月比92.8%）、小売業14,130百万円（前年同月比105.7%）、製造業11,539百万円（前年同月比100.1%）、運輸倉庫業8,382百万円（前年同月比113.0%）、飲食業3,029百万円（前年同月比50.2%）となった。 <p>■代位弁済状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度（9月末時点）の代位弁済は588件（前年同月比193.4%）、6,225百万円（前年同月比248.7%）。中小企業の経営環境は、コロナの長期化に加え、原材料の高騰や人員の不足など厳しさを増しており、代位弁済増加の局面に差し掛かっている。 業種別（主要業種）では、サービス業1,138百万円（前年同月比155.4%）、運輸倉庫業1,132百万円（前年同月比724.0%）、建設業987百万円（前年同月比360.3%）、製造業862百万円（前年同月比235.3%）、卸売業843百万円（前年同月比184.4%）、小売業720百万円（前年同月比255.4%）、飲食業449百万円（前年同月比233.3%）となった。
イ. 売上高、売上単価の動向	
ウ. 原材料・燃料・仕入コストの動向	
エ. 収益の動向	
オ. 設備投資の動向	
カ. 雇用の動向 ※正規・非正規別の人手の過不足状況、雇用調整の状況、当面の採用予定などについて記入	
キ. 資金繰りの動向	